

- 一、熱誠、正直、公平、攻撃的、積極的、進取的、樂天的、精力的、勇氣、不屈不撓。
- 二、大望を抱け、そして耐へよ、進めよ。躊躇するな、逡巡するな。
- 三、艱難は成功への試練である。
- 四、自ら助くるの人にして始めて成功の殿堂に入ることが許される。
- 五、自分自身を愛し、自分の事業を愛するが如く、自分のすべての使用人を愛しなればならぬ。
- 六、最後の成功を爲さしむるものは、自分自身でなくて自分が使用するすべての人たちである。
- 七、一を得たら二を望み、二を得たら三を望み、より多くを望みより多くを求めよ。そして已ますんば遂により多くを與へられるであらう。求めないものには與へられない。
- 八、汝を嘲笑し侮辱するものは、汝の鞭撻者であり、汝を成功せしむる援助者である。
- 九、最初から金を問題とするな。仕事がよければ金はいくらでも求めずして集り来るものである。
- 十、より多くの人に面接すれば、より多く得る處がある。

天涯に頼る邊なき孤兒から奮闘苦戦して

遂に活動寫真界の大立者に成功した

22 キネマ界の霸王デューコール (米國)

成功の總量

十六歳から五十四歳の今日まで三十有餘年間の千辛萬苦に收獲し得たる彼の成功の總量は、先づ世界の活動寫真業界を今日の盛大に導いた先覺者であり指導者である。次に彼は映畫を今日の藝術映畫に導いた藝術映畫の開拓者であり、藝術映畫の創始者である。そして彼は今や巨萬の富を擁する富豪であり、大事業家であり、世界最大の映畫製作會社たるフエーマス・ブレイヤース・ラスキー・コーポレーションの社長であり、米國キネマ界の王者たると共に世界キネマ界の第一人者であり、世界映畫界の霸王である。

彼の名聲と實力と地位と信用とは、米國を超越して世界的で、世界のキネマ界に帝

王の如き勢力を振つてゐる。

而も彼は本年まだやつと五十四歳になつたばかりで、是れからが眞箇の働き盛りの年輩である。随つて今後の彼の活躍と発展とは何處まで行くか分らぬ。随つて又彼の成功の量は今後彼の歴史の最後のページが作らるゝまでには、どれだけ加へられるか知れない。

如何にして成功したか

世界映畫界の霸王と謂はるゝアドルフ・ヂュコール。彼は一八七五年匈牙利に生れたが、彼は決して富者の子でもなければ天才の子でもなかつた。彼は十五歳の時既に兩親に死別れて天涯頼る邊なき孤兒であつた。赤貧にして孤兒、世にこれほどの傷ましき不幸があらうか。

斯うした三界に家なき可憐の孤兒が、新大陸北米に自己の運命を開拓すべく、多くの移民の群まじつて、澎湃たる太西洋を越え、ニューヨークの阜頭に彼自身を見出したのは、一八九〇年丁度彼が十六歳の時であつた。

故國を見た目にはすべてのものが新らしく生々潑潑として見ゆるニューヨークのブロード・ウェイや第五街の繁華な都大路を、懐かしげに又珍らしげに、何かしら希望に輝いた瞳を左右に動かして見歩いた上陸第一日の彼の懷中には僅かに二十五弗の金しかなかつた。彼はこの二十五弗が盡きないうちに、彼自らを生活に安全せしむべ方法を見出さなければならなかつた。

彼は幾日から街から街へと歩いて、諸の商店會社に勤め口を捜した。けれどもニューヨークの大商店や大會社は、この天涯寄る邊なき可憐の孤兒を直にクリストの如き愛を以て抱きかゝへてくれるには、餘りに營利的であり、あまりに神に遠い心の持主であつた。併し不屈不撓の彼の精神は、遂に彼に生活の地位が與へられた。彼は或る毛皮商店の掃除小僧として雇はれ、一週二弗の給料が與へられた。

彼は週二弗の薄給にも不平は言はなかつた。そして一生懸命忠實に働いた。彼はその商店内に起臥してゐたので、生活費はあまりかゝらなかつた。それだけ彼は極端な節約をやつて金を溜めた。働く者は必ず酬ひらる、忠實な者は必ず惠まるで、彼の熱心努力忠實は店の支配人からも先輩店員からも認められ、地位は次第に引上げられ、

俸給も同時に昇給し、二十歳の時には、立派な毛皮商人たる技倆と可なりの貯金とが出来た。

そこで彼はその商店を出て、シカゴに赴き獨立で毛皮商店を開いた。彼は一般の毛皮商の如く暴利を貪つたり顧客を胡魔化したりすることをしなかつた。より良い品をより安く賣ることをモットーとして努力した。彼の商店はメキ／＼と繁昌した。もう押しも押されもせぬ毛皮商人となつた。そこで彼は家庭を持つてもい／＼と思つて、豫て戀仲であつた乙女と結婚し、二十八歳までシカゴでみつちり働いた。

けれども彼は、シカゴでは不満であつた。ニューヨークの方が戀しかつた。といふのは、どうもシカゴでは大發展は出来ないやうに思はれた。何と云つても米國の心臓たるニューヨークでなければ、將來の大成功は覺束ないやうに思はれてならなかつたからであつた。

遂に彼は意を決して、一九〇三年彼が二十九歳の時、シカゴの店を閉ぢ、愛妻を連れてニューヨークへ戻つた。そして再びニューヨークで毛皮商店を開いたのであつたが、彼の十餘年間に得た知識と經驗とは、彼をして毛皮商を見棄てさせてしまつた。

彼は毛皮商などでは、とても一代に大成功を収めることは困難だと思つた。こんな舊來の平凡な商賣は、矢張り平凡な結果しか齎らさない。もつと斬新なもつと前途有望な事業に一生の運命を開拓しなければ嘘だと考へた。そこで彼は、もつと斬新でもつと儲かる事業はないかと鵜の目鷹の目で注意してゐた。

すると彼はベニー・アーケードを見て、これこそ面白い有利な仕事だと思つたので、彼は毛皮商をやめて、その方に乗り替へた。ベニー、アーケードといふのは一片の銅貨を小さな穴から投入すると、他の口から商品が出て来る仕掛けになつて居るもので、子供だましの様なものだが、人情の機微に觸れたもので、彼は夜となく晝となく數日間その前に立つて見てゐたが、一片の銅貨は、殆んど間斷なき人々によつて間斷なく投げ込まれる。まるで銅貨製造機みたいであつた。

この商賣は、彼が睨んだ通り非常に繁昌した。彼は毛皮商の友人やその他の友人と組合を組織し、大規模にやり出したが、一つ間がよくなると妙なもので、規模を大きくすればするほど成績は上々吉で、彼も大分利益を占むることが出来た。

併し彼は又考へた。一片くらの好奇心を唆つた事では將來の世界的大發展はとて

も駄目だ 同じ娯楽といつても、もつと意義のある、もつと壽命の長い、もつと世界的なものでなければならぬ。斯う考へた彼の心には活動寫真が映つて來た。けれども、當時の活動寫真なるものは、ホンの初期のもので、單に寫真が動くといふに過ぎないものであつた。そして映畫そのものも、人物とか風景とか主で、劇的なものもあつたが、一種の教訓式の單純な千編一律なものであつた。観客は、そんなものばかりを繰返して見せられるので、もう觀てゐるうちに飽が來て欠呻で出る。餘程根氣のいゝものでなければ一回の終りまで辛抱は出來なかつた。従つて活動寫真の振はないことは素晴らしいもので、ちよつと變つたものといふ珍しい感じを與へてゐたに過ぎなかつた。それだから映畫に現はれる俳優は、悉く三文役者ばかりで、とても見てゐられない拙劣なものであつた。

彼は自分の經營してゐる娯樂場の一部に活動寫真館の設備を施し、開業して見たが、客の受は至つてよくない、そのよくない理由は、要するに千編一律で詰らない、見飽きをする、見應へがない、馬鹿々々しいといふにあつた。彼は映畫製作會社に、もつと藝術的な、もつと民衆娯樂的要求に應じた映畫を製作して貰ひたいと要求したが、製作會社の方では、そんなものはとても出來るものでないと云つて全然問題にしなかつた。

彼は奮然として映畫製作に自ら向つた。彼は活動寫真は民衆娯樂として、將來世界的に非常な發展をするものと考へた。併し今日の如き低級な、幻燈に毛の生へた様な、千編一律の、何等藝術味のないものでは、何百年経つても自滅はしても發展する見込みはない。活動寫真を發展させるか否かは、一に映畫にある。もつと民衆の要求に應じた、もつと藝術的な映畫であれば、必度客を呼ぶことが出来る、それには先づ有名な一流の俳優をこの無言劇の舞臺に立たせなければならぬ。そこで彼は、有名な俳優に面會して口説いたが、いづれも問題にして呉れなかつた。日本でも映畫劇に出る俳優は最初三文役者ばかりで、少し名ある者は映畫俳優たることを以て、俳優の墮落、絶大の不名譽と思つてゐたが、米國でも矢張り最初はさうであつた。

彼は是が非でも一流の俳優を立たせようといふ熱心から、當時有名な劇場の支配人であつたダニエル・フローマンを訪問した。そして熱辯を揮つて活動寫真に對する彼の意見を述べ、口説いて口説いて口説きまくつた。フローマンも彼の熱心さと、彼の

意見に感心して、それでは君の希望が實現する様に努力しようといふことになつて、フローマンは彼の爲めに名ある俳優連の僻見を打破すべく、非常に骨を折つたが、頑迷なる俳優連は、あんな馬鹿氣たものに出演せよといふのは俳優を侮辱するものだ、頑として應じなかつた。彼の考へでは米國で有名な男優をスクリーンに立たせる計畫だつたが、フローマンの援助も奏効しなかつたので、今度は名女優の口説き落しにかゝつた。そして彼が先づ白羽の矢を立てたのが、有名なフランスの女優サラ・ベルナル嬢であつた。

彼はフローマンの紹介でサラ・ベルナル嬢に面會し、滔々と自己の意見と理想と抱負とを述べ、

「たつた一度でいゝから、是非スクリーンに立つて頂きたい。貴嬢がこれを承諾して下さいれば、私は私の全財産を投げ出してもいゝ。その他如何なる條件でも構はない」とまで極言した。サラ・ベルナル嬢も彼の識見と熱誠とに動かされて、彼の要求を容れ、この世界的名女優がイの一番に彼の映畫製作のスクリーンに立つことになつた。そしてサラ・ベルナル嬢が演じたのは「エリサベス女王」といふのであつたが、何しろ俳優

優は世界一の名女優サラ・ベルナルである。製作者は藝術映畫製作の第一人者デューコールである。その出来栄の悪からう筈はない。その藝術味の豊かなことは、十弗二十弗の観劇料を拂つて大劇場で観る實演と何等異なる處はなかつた。唯有言と無言との相違があるだけであつた。當時サラ・ベルナルの劇を観ようとすれば、十弗二十弗の観劇料を拂はなければならなかつた。それが僅か五十仙か一弗拂へば観られるのだから、その評判はニューヨーク全市を湧かせた。彼の活動寫眞館は日夜文字通りの満員立錐の餘地なしで、這入りきれないで館外にはいつも數百の人たちが押寄せて袴めき合ふといふ素晴らしさであつた。そしてサラ・ベルナルの名聲は、大劇場の舞臺に立つてゐた從來の比ではなかつた。このたつた一回の出演によつて全米の浦々浦々にまで響き渡り、本國フランスに於ける名聲より遙かに偉大なるものであつた。

サラ・ベルナルが映畫劇に出演したといふ一事は、さしも頑迷なる米國の諸名優連に一大衝激を與へ、彼等の僻見の天狗鼻は見事にヘシ折れてしまつた。そして却つて彼等の方から出演を提議して來るやうになつた。

斯くて一舉にして映畫革命に成功してからの彼は、順風に帆をあげたやうに、一瀉

千里の勢で發展した。彼は當時米國の名女優連を續々スクリーンに立たせ、藝術味の豊かな新しい映畫をドシ／＼製作し、熱狂的歓迎を受け、全米の民衆をキネマファン化した。そして、彼の製作映畫は歐洲に輸出され、各國のキネマファンをしてヤンヤと言はせた。米國のみならず歐洲の映畫製作者も靡然として彼に倣つた。今日に見る様な藝術的な映畫が製作されるやうになつたのは、即ちその時からである。

彼はフエーマス・ブレイヤーズ・フィルム・コンパニー即ち名優フィルム會社を創立し、進歩した映畫を續々製作し、一九一六年腕つ利きのジー・エル・ラスキーが入社するに及んで、フエーマス・ブレイヤーズ・ラスキー・コーポレーションと改め、彼が社長となり、ラスキーが副社長となり、専ら映畫製作に専進し、今や世界最大の映畫製作會社として、世界のキネマ界に霸王たる地位を確保してゐる。

彼の映畫によつて名聲を世界に鳴らすに至つた名優はいくらかもある。また彼の會社によつて養成されて花形となつた連中も随分多い。メリー・ピックフォードだの、ハーゼル・ダウンだの、ポーリン・フレデリックだの、ビリー・バックだの、ジャック・バリモアだの、ゼラルデイン・ファラーだのは、世界のキネマファン一人として知らぬも

のなしといふほど名聲を馳せてゐるスターであるが、これらはすべて彼の會社專屬の名優及び會社で養成したスターである。

彼は今年五十四歳の男盛りの働き盛りである。彼の經驗と知識はいよ／＼深みを加へ、彼の映畫製作上の技能はいよ／＼圓熟し、彼の實力地位名聲は益々斯界に重きをなしてゐる今日、彼れ今後の活躍は果して何處まで延び發展して行くであらうか。

體驗から得た成功秘訣

一、社會は常に間斷なく進歩しつゝあることを忘れてはならぬ。そして進歩するに従つて、人心の要求はそのあらゆるものが常に間斷なく變化して行くことを忘れてはならぬ。

二、その日に新たなる社會人心の要求に、よりよく應ずることによつて成功の扉は開かれる。

三、不屈不撓不休不斷に研究せよ考察せよ努力せよ。成功への軌道はそこに始めて敷設される。

- 四、事業目的は、より大衆を味方とし顧客とするものを選べ。
- 五、着手する前に、先づ、その事業が將來世界的に發展する可能性あるかどうかを冷静に公平に研究考察せよ。
- 六、自己の事業に對しては、常に有利有益な事を考へると共に、不利無益な部分について公平に考へよ。失敗は餘りに有利有益な事のみを考へを偏せしむる場合に起るものである。
- 七、人間を相手にする事で、不可能の事はあるものでない。一心不亂の努力突撃は必ず如何なる難事も可能にする。
- 八、常に人に一歩先んせよ。先んずる者は必ず人を制し、後る者は常に人に制せらる。
- 九、社會の要求大衆の希望と、それに對する現在の提供との差、それが即ち成功を欲する人の飛込むべき餘地である。
- 十、成功への機會は、すべての人の前に公平に提示されてゐる。随つて何人にも之を掴み得る權利と自由とがある。

狂人、阿呆、馬鹿とあらゆる嘲罵に超越して、遂に世界一の大養蜂家となつた

23 養蜂界の霸王ルート (米國)

成功の總量

二十八歳から八十八歳の今日まで、贏ち得たる成功の總量は、世界一の養蜂家たること、その知識においても經驗においても彼に比肩し得るほどの者は世界にない。現在オハイオ州のメイナに七英町餘の大養蜂場を經營し、その事業の價値は壹百萬弗を超ゆと謂はれてゐる。

富の成功においては、カーネギーやロックフェラーの如き巨大なるものでは勿論ない。併し養蜂といふ地味な仕事で、百萬弗からの大事業たらしめたことは、何と云つても世界に類例のない大成功者である。伊太利は世界における養蜂國といはれる養蜂の盛んな國で、養蜂家も随分有名な人があるが、ルートに匹敵する養蜂家はないと云はれる。此點において、彼は他の多くの大成功者と肩をならべて、世界的成功者の椅

子に着くべき資格を有する。

如何にして成功したか

十年の努力といふことすらも、到底尋常一様の人には出来ない、非常に長い間、努力であるかの如く考へる今日の日本人から見たら、エ・ジエイ・ルートが、五十年間、蜜蜂ばかりをいぢり通したといふ事は、驚くべき根氣と思はれるであらう。そしてさういふ氣の長い根氣仕事は、到底不可能の事である如く思はれるであらうが、その五十年一日の如く、蜜蜂いぢりをやつて世界的大成功を收穫したといふ事實には、無限の生きた教訓を示現していることを考へなければならぬ。

ルートは少年時代から、普通の少年とは少し違つた處があつた。といつても、それは非常な天才的な神童じみたものであつたといふ意味ではない。新奇なものを好むといふ點において、いくらか並外れて居つたといふに過ぎない。彼の少年時代は電動機の製作に夢中になつたり、化學の實驗をやつたり、毎日そんな事ばかりやつてゐたといふのだから、研究心の強い、將來何物かを産み出すべき閃きが、既にその頃からあつた様に思はれる。

さういふ事實から見ると、彼の家は赤貧洗ふが如しといふ程の貧乏でなかつたことが分る。敢て財産家といふ程のことはなかつたにしても、彼を丁稚奉公に追ひこくならなければ食うに困るほどでなかつたことは確かである。さうして、彼の歴史は二十八歳までは、平々凡々で別に特筆するに足る様なことはなかつた。

二十八歳の頃の彼は、寶石商として生活してゐた。寶石商と云へば偉らさうだが、村の寶石商だから高が知れてゐる。まあ寶石商の破片みたいなものだつたと思へば間違ひはない。

或日、彼は商賣からの歸途、路傍の樹の枝に、蜜蜂の一群が、一塊になつてブラ下つて居るのを發見した。彼は初めて逢着したこの珍しい事實に、心を捕へられてしまつた。彼はその近くへ進み寄つて、ためつすがめつそれを觀察してゐた。するとそこへ通りかゝつた一人の百姓が、足を止めて彼の容子を見てゐたが、彼がその蜜を欲しがつて見てゐるものと思つたのか

『その蜜蜂が御入用なら、捕つてあげませうか』

と言つた。彼は別に蜜蜂を欲しいとは思つてゐなかつたけれども、百姓にさう云はれると、イヤ要らないとは言へなかつた、ツイ

「さうだね、捕つて貰つてもいい」と言つてしまつた。

「さうですか。それでは一弗下さい。捕つてあげますから」

「一弗、よろしい、では捕つて貰はう」

約束は出来た。百姓は我家へ馳せ戻つて一つの小箱を持つて来て、蜜蜂をその箱の中へ掬ひ込んで彼に手渡した。それを持ち歸つた彼は、箱が小さ過ぎるので、更にもつと大きな箱に移して、毎日蜜蜂の生活振りを熱心に研究を始めた。

とても勤勉なる此の小さき者の一群の生活振りは、好奇心の強い研究心の熾烈な彼を捕へずには置かなかつた。彼は養蜂といふことを考へた。そこで彼は早速三十哩から離れてゐる町へ行つて、養蜂に關する書籍を買つて來た。そして熱心にそれを讀んで、先づ一通りの養蜂知識を備へた。

さうなると彼は本當の寶石商の方は附録になつて、毎日小箱をブラ下げて蜜蜂を目

つけて歩いた、發見すると早速それを捕つて持ち歸つた。間もなく彼は蜜蜂狂の渾名を村の人たちから奉られるやうになつた。

「寶石と蜜蜂はどつちが儲かりますか」

などと村の人が皮肉つても

「さうさね。どつちが儲かるかな。數だけは確かに蜜蜂の方が多い様だよ」

なんかんたとぼけた事を言つて取り合はなかつた。そして養蜂熱はますます其度を高めていつた。そして彼の養蜂熱は伊太利から女王蜂を輸入するに二十弗をかけるほどの高潮となつたが、これも村人達の嘲笑の種になつた。

然るに其村人達の嘲笑は、翌年の夏になつて一日十四封度の蜜が採取される様になつたことによつて粉碎され、逆に感嘆の聲に變つた。

彼はもう寶石商などはやめてしまつて養蜂専門家になつてしまつた。そして蜜蜂に對して到底普通の人の想像も及ばぬ研究に苦心した。各國の蜜蜂を取り寄せ、その性質、分封力、採蜜力の比較研究から、性質の矯正、分封力の増大、採蜜力の増大、或ひは巢箱の研究、採蜜と花卉との關係、養蜂場と周圍との關係、蜜蜂の採蜜飛行範圍、

動作による蜜蜂の表情、その他蜜蜂に關するあらゆる研究を積んだ。それのみでなく製蠟機、分蜜機等幾多の機械を發明した。而もこれが五十年間孜孜として倦まず撓まず續けられたのだから、その根氣氣力には驚かざるを得ない。

さうした結果、世界一の養蜂家となり、既に述べたやうに、百萬弗からの養蜂事業を建設し、オハイオ州メイナに七英里からの廣大なる養蜂場を經營し、世界の養蜂界に王者の如く知られてゐる。

彼は蜜蜂のみでなく風車や鶏や草花の熱心な研究家であり、敬虔なクリスチャンで傳導は彼の唯一の道樂である。

體驗から得た成功秘訣

- 一、偉大なるものを學べ、そして孜孜として倦まず撓まず屈せず、自分の仕事を研究せよ。
- 二、その事に徹底すること。生半解は決して成功するものでない。
- 三、そして知識を獲よ。知識は品位を高め、成功を保證するものである。

四、新しい事は冒險的に見えるものであるが、その冒險的に見える所に新しい事の偉大さがある。常軌は傳染病の如く恐れ避くべきものでなければならぬ。新しい事は一時として間違、損失を生ずる事があるかも知れないが、さういふ場合にも、間違損失以上の事は必ず發見するものである。

五、途中困難 遭遇しても必ず目的とした一筋道を進め、必ず目的地に達する。

貧しい農家に生れ馬鹿と言はれつゝ

遂に科學的農作法に成功した

24 世界農業界の新人シーブロットク (米國)

成功の總量

十四歳から四十三歳の今日までに贏ち得た成功の總量は、千二百英里から一ケ年五拾萬弗以上の巨額に達する驚くべき收穫の新しい化學的農耕法の成功、即ち自然力に頼る従來の農作法を科學的農作法に進歩させ、農場を工場化した農業上の一大革命である。

彼の科學的灌漑は天下一品で、土壤に對する彼一流の肥沃法と併せて、其工場的農場から收穫される農産物は、オサだけでも拾萬弗に達し、キャベツ、大根の如きも殆んど四萬弗の巨額に及ぶ。そして彼の科學的農作法は年一度の收穫法でなくて、年三四回の收穫法である。そして彼は今やそれによつて巨萬の富を積んでゐる。要するに農場の工場化による收穫の人為的増大は、彼シーブロッツクの一大發明であり、一大成功であり、世界農業界革命の急先鋒でなければならぬ。彼が世界的大成功者として推稱さるべき資格はそこに存する。

如何にして成功したか

農業界の革命兒チャーリー・シーブロッツクは、一八八三年米國ニュージラランド州ブラトンといふ所の貧困な農家に生れた。彼の父は英國からの移住民で、如何にもして成功したいと營々として努力したが、貧困から脱することが出来なかつた。さういふわけで、彼には殆んど學校教育は恵まれなかつた。彼は七つ八つの頃から小さな勞働者として働かなければならなかつたほど、彼は貧困に虐まれたのであつた。さうした

不幸は、彼を十四五歳にして既に一人前の勞働者たらしめる傷ましきであつた。

彼の生ひ立ちを家庭の貧富から見れば、それほど恵まれない不幸な生ひ立ちではあつたけれども、將來彼れが農業界の革命兒として成功すべき素質の閃めきは、既に早くその少年時代から芽生へてゐた。即ち彼は自分の仕事に對しては非常に熱心であつたこと、其仕事が奴隷的であることを非常に嫌つたこと、非常の努力家であつたことの三點であつた。つまり彼は自分の仕事は人の支配下に置かれることを嫌ひ、自分の仕事は何處までも自己の支配に屬するものでなければならぬと信じ、さうした仕事に對しては驚くべき熱心家努力家であつたのである。

農家に生れた彼の勞働は、無論農業勞働であつたが、彼はその少年時代から、習慣的農作法に不満を持つてゐた。従來の農作方法は餘りに自然の力に頼り過ぎてゐる。自然のままに多少人力が加はつてゐるといふに過ぎない。こんなことでは農作の收穫は充分でない。もつと人工的に手取り早く容易に收穫を多くすることが出来なければならぬ。即ち現在の農業は人力の最善が盡されてゐないといふのが、この少年農業勞働者シーブロッツクの腦裡に往來した考へであつた。

年一年と彼のさうした考へは強く深くなつた。彼は農業に關する種々の書籍を買つて讀んだ。農業のみを書いたもののみでなく、之れと直接接關係ありさうなものは、出来るだけ買ひ求めて研究した。かくて十年の研究は、彼が二十歳の時、彼に『現在の農作には雨量が不足してゐること』、『現在の農作には非常に肥料が不足してゐること』、『現在の農作における通則たる年一回の收穫は餘りに僅少に過ぐるること』の三つの結論を明らかに教へた。

そこで彼は第一の發見たる雨量不足を補ふために、三英町の農場、架空灌漑法を實施して見た。その方法は極めて簡單なもので、無數の小孔を穿つた小さな鐵管を六呎の高さに五十呎の間隔をおいて架設し、雨の如き灌漑をやつて見た。ところが其結果は驚くべき成績を示した。即ちこの人工灌漑は從來に比し十倍の好成績を示した。最初の試験に見事な成績を収めた彼は、父の援助の下に勇敢に大膽に農作法に改良を加へ、一九一一年には一ケ年に二萬五千弗の利益を得た。

次に彼は此の二萬五千弗の利益を、第二の土壤の大榮養に全部投下した。即ち彼は土地を肥沃らしむるために肥料に二萬五千弗をかけてしまつたのである。彼父は

二萬五千弗といふ大金を全部肥料にしてしまふことには馬鹿氣た事の様だに思へて、彼を説いてやめさせようとしたけれども、彼は躊躇なく斷行した。周囲の農民たちは、彼は發狂したのだと笑つた。二萬五千弗を全部肥料代にしてしまふなんて、彼は農事の何たるかを知らぬ大馬鹿者だと嘲り笑つた。

從來の農作法を最良の方法だと心得てゐる人たちの目から見れば、シーブロックの農作法は途法もない馬鹿氣な亂暴な方法で、馬鹿だと嘲笑される資格は十分あつた。何故かなら、彼は地價一英町百五十弗くらゐの土地に對する肥料は新農作地に對し一英町當り百噸、舊農作地に對しては四五十噸、それに更に二噸乃至三噸の骨粉肥料を施し、その價格は一英町當り四百弗近い莫大なものである。それに人工灌漑法の設備は一英町當り少くとも三百弗の費用がかかる。だから全體を合計すると一英町に要する費用は約七百弗からで、百五十弗の地價は、これがために八百五十弗といふ苧棒なものになる。この七百弗といふのは肥料代や灌漑設備費で、勞働賃銀がはいつてゐないのだから、それやこれやを加算すると一英町當り千弗位には當る。舊耕法から見れば、これは何といつても素敵もないペラボーナ經費の濫費でなければならぬ。附近

の農民たちの間にシプロックの新耕作法が一の笑話の種になつたといふのは無理ならぬことである。

ところが、彼は無考でやつたのではなかつた。彼に言はせると、土地は自然のままでは眞の農作地たる價値はない。自然の儘の土地は、農作上の原料に過ぎない。これを精製品とするには、人工的努力を要する。即ちより良き農作地たらしむるには、より多くの経費を投下しなければならぬ。自然の儘の土地は收穫への出發點に過ぎないものであるから、より良くより多くの收穫を望むならば、それに必要な土壤榮養法即ち肥沃法を施さなければならぬといふのが、彼の研究から得た科學的農作法の結論であつた。彼は之れが爲めに一英町當り七八百弗の費を投ずる結果の收穫を驚くべき程度に引上げるものだと言ひ得る眞理だと信じてゐた。彼は半病人よりは強健者の方が勞働力が大きいといふことは土壤においても言ひ得る眞理だと信じてゐた。

彼の科學的結論に生み出された新農作法は、二年目三年目となるに従つて、彼の確信した通りのコースを辿つて驚嘆すべき收穫成績を示した。即ち二年目に植付けた苺の半收穫六百弗、第三年目の全收穫一千三百弗、ちさが一千弗、菠薐草が百五十弗といつた具合に、三年目の一英町當りの總收入は二千四百五十弗、全耕作地の平均收入は一英町當り一千三百八十五弗、純利益一英町六百五十弗といふ莫大なる成績で、而も年三四回の收穫を挙げ得ることが、實際において證明された。

彼の科學的新農作法は、着々成功し、年々の収益は驚異的增加を示し、最近においては、その經營農園は一千二百英町といふ廣大なるものであるが、その中の二百英町からあがる最近の收穫はチサ十一萬二千五百弗、キヤベツ四萬弗、大根四萬弗、菠薐草三萬五千弗、玉葱三萬弗、馬鈴薯三萬弗、苺二萬弗、胡瓜二萬弗、合計三十二萬七千五百弗といふ大收穫である。

彼の農場專屬の農業労働者は平時三百人で、收穫期だけは臨時に三百人を雇入れることになつてゐる。專屬労働者たちは農場にコンクリート造りの住宅が與へられてゐる。普通農業には多忙な季節と閑な季節とがあるから、住宅まで當てがつておくことは、經營者に取つては、極めて不經濟の様だが、彼の農場は普通一般の農場と違つて、一の工場組織である。專屬農業労働者は、年中休みなしに働くだけの仕事と與へられ、それが悉く農場に關した必要の仕事である。即ち、冬季の仕事としては温室栽培があ

る。温室は間口六十呎、奥行三百呎といふ大きなものが六棟もある、三百人の労働者は、最も値段の高い利益の多い走りもの栽培に此の温室で働く。また農産物を入れる木箱製造の工場がある。大きな冷蔵庫もあれば、農具修繕工場もあり、間口六十呎、奥行三百二十五呎の自動車庫もあつて、そこには農場用の多数の牽引用自動車や貨物自動車が收容されてある。馬小舎もあれば数十頭の馬もある。斯ういふ風であるから三百人の労働者は年中遊ぶ時期といふものがない。また農場に附属する十萬弗拂込の倉庫會社もあつて、年二割といふ高率の配當である。

彼、農場は農場とか農園とかでなくて最早立派な食品製造會社であり、農産物製作工場である。彼はすべての點において規模を擴張し、組織の改善、農作法の研究改良を着々行ひつゝある。今や彼によつて農業は工業化され、農場は工場化された。農業革命の旗が翻された。そしてその革命は驚くべき優良の成績を實際に示してゐる。最初彼を馬鹿と笑ひ、阿呆と嘲つた附近の農民は、偉大なる農業改革の新人として彼の前に叩頭し、彼を稱揚せざるを得なくなつた。米國の農業界が一般に最近著るしく科學的化し、工業化的傾向を示して來たのは、彼の發明的農作法の刺戟が與つ

て大いに力あるといはれてゐる。彼が今後益々科學的農業、工業化農業、工場的農業經營が、ますます發展して行くに従つて、米國の農業界のみならず、世界の農業界は工業化し工場化して行くであらう。彼は農業改革に成功したのみでなく、世界の農業萬の富を積んで、その方面においても成功してゐる。

體驗から得た成功秘訣

- 一、自然のまゝの土壤は收穫への道の單なる出發點に過ぎない。
- 二、榮養の不充分的な労働者の労働力が小さいと同様、榮養不充分的な土壤は生産力が小さい。
- 三、土壤榮養即ち土地を肥沃ならしむることに費用を惜むな。土地を肥沃にすることは土地の收穫を大ならしむる所以で、その収益は肥沃ならしむる爲めに費した數倍數十倍であることを忘れてはならぬ。
- 四、灌漑と肥料を施し、年三回乃至四回の收穫を得る方法に改めよ、農業は工業に劣らない有利事業であることを知るであらう。

五、農業を科學的に工業化し、農場を工場化することは、農業のあらゆる能率を増大するものである。

六、農業は産業中最も原始型を有する時代の進歩におくれた産業である。

其日暮しの一製靴工から粉骨碎身

遂に米國第一の製靴會社社長となつた

25 世界的製靴王ジョンソン（米國）

成功の總量

週給二十弗の一製靴工から粉骨碎身、八十歳の今日まで贏ち得た成功の總量は、一日の製産數量八十一萬足、一ケ年間の製造價格萬億五千萬弗といふ驚くべき巨額の靴を製造し、二萬の職工を使用する米國第一のエンデイコット・ジョンソン製靴會社の社長で、彼の成功によつてエンデイコット町、ジョンソン町との二つの町が出来、其人口五萬を超え、それらの人々からは「我等の父」と呼ばれて愛慕され、その工場及びその町の在る溪谷は「公明正大の谷」と呼ばれ、現代理想郷として米國名物の一つとして有名である。

つとして有名である。
そして彼は今や米國第一の世界的大製靴家大實業家として、名聲と信用と實力とを確保し、巨萬の富を擁する富豪であり資本家である。

如何にして成功したか

斯くの如き一大成功は如何にして贏ち得られたか、それは今から三十八年前に遡る。當時彼は此の溪谷の町にある製靴工場に働いてゐた週給二十弗の製靴工であつた。職工の中では古參だつたので彼は職工長といふ地位が與へられて居つた。併し週給二十弗の職工長なんだから、その製靴工場の規模が凡そどんなものであつたか想像されよう。

ところがその工場主といふのは、經營の下手な人物で、彼は幾度か經營改善策を忠告したけれども、工場主は彼の意見を用ひなかつた。爲めに工場は破産状態に陥り、經營不能となり、債權者の手に工場を引渡さなければならぬ始末になつた。その債權者といふのはボストン市の銀行家でエンデイコットといふ人であつた。

エンデイコットは、工場主の投出し通知によつて、遙々ボストン市から、實狀視察にやつて來た。事實工場主の言ふ通り、債務の履行は不可能の状態であつた。エンデイコットは貸金の代りに、その工場を引取る外に途はなかつたが、エンデイコットは銀行家で製靴家ではない。工場を引取つても閉鎖したのでは何の役にも立たぬ。と云つて賣却すれば二束三文の値打しかない。出來得れば何とかして經營を續け、物にする方が有利である。そこでその經營が可能か不可能か知るために當時の職工長だつたジョージ・ジョンソンに會つた。ジョンソンはエンデイコットの質問に實狀を一切報告した末に

「貴下としても此工場を閉鎖した所で詰らない話ですから、寧ろそのこと、もすこし資本を下して拾五萬弗の御投資をなすつてはどうです。そしてその半口に私を乗せて下さるならば、立派に此工場を物にして御覽に入れませう」と、随分思ひ切つた提議をした。エンデイコットは、こんな溪谷の微々たる工場に金を貸すほどの銀行家だつたので、小膽な先の見えない人物ではなかつた。

「よろしい。承知しました。拾五萬弗の資本にして、君を半口乗せませう。確乎やつ

て一つ物にして下さい。經營一切お委かせするから」

斯うしてエンデイコットとジョンソンとの約束は雜作なく成立し、彼、職工長から一躍して工場主の一人となり、經營一切を引受けることになつた。彼は先づ工場の制度の改革を斷行し、賃請と週給との二様にし、週給の方が職工の爲めに好いものは週給とし、賃請の方が職工に取つて有利な職工は賃請とし、専ら職工の利益になる様に改めた。そしてより優秀な靴をより多く製造する方針を立てた。

その結果は、彼ジョンソンの確信した通りであつた。優良により多く製造すれば、それだけ自分の収入が多くなるので、賃請職工は全能率を發揮した。週給職工も、これが普通の工場なら忽ち首になるべき所を首にしないで、自分たちの利益の爲め週給で使つて呉れる、こんな譯のわかつた工場主は滅多にあるものでないといふ感激から、勤人根性を一掃して忠實に懸命に働いた。職工の利益を増加することは結局工場主の利益である」といふ彼の考へは實證された。工場は彼の經營になつてからは、日にく發展し、豫定年數後には彼がエンデイコットに言つた通り立派に物になつた。そこで資本を増加し、エンデイコット・ジョンソン製靴會社と改め、ジョンソンが社長

となつた。爾來二十幾年彼の會社は卓越した公平なる彼の經營によつて向上發展の一路をひた進みに進み、遂に全米第一の製靴會社となつた。今日における製産額は一日八十一萬足、一ケ年一億二千弗といふ巨額で、二萬人からの職工が「公明正大の谷」の二大工場に勤勉してゐる。其二萬の職工の中の五分の四は賃請仕事で働いてゐる。かう言つてしまふと、彼は何の雜作もなくスラ／＼と成功したものの様に見えるが、ナカ／＼どうして／＼、彼がエンデイコットと協定し、自分で經營する様になつて、どうにか物にすることが出来るまでの、彼の苦心と努力とは、並大抵ではなかつた。「人を働かせ様と思つたら、先づ自分自身を働かせよ」で、彼は誰よりも早く工場に出で働き、誰よりも晩くまで工場に残り、二人前三人前も働いた。そして彼の生活は職工長時代と同様一週二十弗の貧しい生活に甘んじた。而もそれが半年や一年ではない、十幾年の長い月日續けられたのだから、並大抵の苦勞でなかつたことは、その一事を見ても分るだらう。この刻苦、この忍耐、この勤勉、この公平、この會社思ひ、この職工思ひ、これで成功しなければ世の中に成功する者はないと云つてよからう。彼、職工から叩き上げただけに、職工の感情をよく解し職工の生活をよく知つてゐる。

た。それだけ彼、職工を物質的にも精神的にも愛した。彼は如何なる種類の職工でも、いつまでも賃銀労働者たることに満足するものでないことをよく知つてゐた。どんなに優待しても賃銀労働者たる待遇のみを以てしては、職工は献身的に終始するものではないことをよく知つてゐた。そこで彼は職工の利益を會社の利益と一致させるために、職工を株主にする新制度を實施し、一定の條件を備ふるやうになれば、職工を株主にした。併し彼はその株主になつた職工に株金を拂込ませるのではない。株主にはしても株式拂込などは一仙だつてさせない。それは丁度エンデイコットが彼を株主にしたと同様に。だから職工は株主の資格を得るために一生懸命働く、働けば必ず間違なく株主になれる。即ち當が外れないのだから働き甲斐がある。又この工場に職工となつたものは、何人でも一ケ年間働けば、利益の配當を受けることになる。そこも一般の新入職工を努力させる新制度である。

斯様な組織制度の會社にあつては、一人の怠者は勤勉な全職工の利益を害するものであるから、會社の幹部の手を待つ迄もなく、職工間で始末をする。そんな職工は職工全體が容しておかぬ。ドシ／＼排斥するから、この會社には一人の勤人根性、職

工根性の職工はゐない。一人の怠者もゐない。二萬からの職工悉く勤勉そのもの、如き職工のみである。これだから會社の事業が發展しまいと思つても發展せざるを得ないのである。毎年の利益配當は、全利益の七分を優先株券に支拂ひ、一割を普通の株主に支拂ひ、残つた八割三分を使用人と普通株券の所有者に同額に配當することになつてゐる。そして此配當を株券でするか現金でするかは、その時に決める制度になつてゐる。また普通利益賞與金といふものは、職工の賃銀の五割といふ高率にまで達してゐる。普通一般の會社に比べると、此會社は、會社の爲めの會社でなくて、職工の爲めの會社といつた方が適當であるほどに、職工に利益が與へられてゐる。

前にも述べたやうに、この溪谷には二つの美しい静かな穩かな街がある。一をエンデイコット街と云ひ、他の一つをジョンソン街といふ。無論製靴會社のエンデイコットとジョンソンの名を採つてつけられたものだが、この二つの街はこの製靴會社の發展によつて出来た街だからである。人口は約五萬ほどで、その中の二萬は會社の職工である。ジョンソンの會社が此二つの街の中心であり、彼の職工が住民の模範となつてゐるから、五萬の住民にも職工と同様、怠情者や横着者はゐない。勤勉努力の住民のみである。

この二つの街の中央には、この二つの街の住民の爲めの理想公園があるが、こゝが五萬の住民の慰安所であり歡樂境である。舞踏場もあれば、水泳場もあり、野球場もあれば、競馬場もあり、無料圖書館もあれば、カルタ部屋もあり、食堂もあるといつた風で、運動遊戯娛樂の設備は一通り整つてゐるから、住民は歡樂を求めると何の不便も不自由もない。此の「公明正大の谷」を訪問した者は、誰でも地上の樂園だ、想郷だと云つて羨ましがらる。世界中で、階級意識のない、紳士氣取のない、生意氣のない、怠惰と無頼のない、貧富の懸隔のない、貧民のない、生活難のない、失業者のない、不愉快と横暴と強制と壓制と不正不義のない、疑惑、詐偽、横領、殺人、強盜盜その他法律道德上の犯罪者のない、無邪氣と天真爛漫と同情と勤勉と努力と公明正大と愉快とに満ち充ちた理想郷を求めたならば、このエンデイコット・ジョンソン製靴會社を中心とする「公明正大の谷」以外には、恐らく發見し得ないだらうと謂はれてゐる。米國人は、今や、エヂソン博士を有することと共に、この「公明正大の谷」を有することを以て米國の誇りであると稱してゐる。

體驗から得た成功秘訣

- 一、使用人の利益を増進することは雇傭者の利益を増進する。即ち雇主が利益を増加したいと思つたら、その利益を産んで呉れる使用人の利益を増加すればよい。
- 二、自分自身を愛し、自分の家族を愛する如く、自分の使用人を愛せよ。
- 三、自分が人に爲て貰ひたいと思ふ事を先づ人にも爲せ。
- 四、使用人から絶對の信頼を受けよ、成功は従つて來るであらう。
- 五、自己の最善を盡すこと。今日爲し得る最善は、明日爲し得る最善ではない。
- 六、自分を成功させて呉れる所のものは、自分自身より先づ自分の使用人であることを忘れてはならぬ。
- 七、使用人は成るべく少くして選擇し、そして利益は出来るだけ多く與へよ。
- 八、使用人を愉快と光明とに働かしめよ。不愉快不平不満は使用者の利益を齎らすものでなく、寧ろ之れを破壊するものである。
- 九、總てにおいて公明正大であれ。信頼と成功とはそこに生れる。

- 十、使用人の生活と感情とを理解し、同情し、尊重せよ。
- 十、使用人、汝自身であることを忘れてはならぬ。
- 十二、使用人が自發的に愉快に積極的に働く組織制度を採用すること。
- 十三、使用人を僞瞞する者は成功し得ない。
- 十四、自己を僞瞞する者も成功し得ない。

一移民の子からあらゆる困苦缺乏に堪へて、遂に世界的罐詰製造家として成功した

26 世界の罐詰王 ハイーンズ (米國)

成功の總量

ヘンリー・ジョン・ハイーンズの生涯は一八四四年の十月に始まつて一九一九年五月に終つてゐる。即ち七十六歳の生涯であるが、この一代における彼の成功總量は、一口に云へば世界的野菜罐詰王である。歐洲にも其他にも野菜類の罐詰製造業者は随分澤山あるが、何といつても彼の會社は世界第一である。

米國內にある工場はピッツバーグの大工場の外に十六の分工場があり、鹽漬工場は九十八ある。海外工場は英國と加奈陀と西班牙とにある。彼の工場は世界の模範工場と謂はれてゐるが、ピッツバーグの大工場には四千人からの社員、職工が働いて居り、他の分工場にも數百乃至數千の職工、働いてゐる。

分配中心地は四十五を有し、世界各国に派遣されて販賣に働いてゐる社員は四百人の多數に及んでゐる。代理店また世界各国到る處にある。

彼の會社所有の果實園は四萬英町の廣大なるもの、その收穫期には四萬の人を雇入れて採取する。彼が野菜類罐詰製造業者として世界一の大成功を贏ち得た結果として、巨萬の富者となつたことは言ふまでもない。

如何にして成功したか

ヘンリー・ジョン・ハインズは獨逸系米人で、彼の父は煉瓦製造業者で、一八四〇年、パバリヤから米國へ移住した一個の移住民であつた。移住當時はピッツバーグに住んで煉瓦製造をやつてゐた。ヘンリー・ジョン・ハインズはこのピッツバーグで一八四

四年の十月に生れた。彼が七歳の時即ち一八五〇年には、彼の一家はピッツバーグからシャーブスブルグに移り、矢張り煉瓦製造業をやつてゐた。

流石に獨逸人の血を享けたとけあつて、彼は子供の時から伶俐だつた。學校の成績は頭破抜けていゝといふほどではなく、まあ普通の成績ではあつたけれど、彼の才能は學業の方よりは、實際的方面に早くから現はれた。彼の父は四英町ほどの菜園を有つてゐたが、彼は煉瓦製造の手傳ひよりも菜園の手傳ひの方が好きであつた。日曜日その他の休日は勿論、學校から歸つても、閑さへあれば菜園に行つて野菜栽培に熱心した。それ位だつたから野菜作りにかけては、兩親より誰より彼は上手だつた。彼が手傳ふやうになつてからは、菜園の收穫が驚くほどズン／＼増加して行つた。小學校を卒業してからは、煉瓦製造の方に主に手傳はされたが、父が一寸目を離すと彼は直ぐに菜園に飛んで行つて野菜いちりをやつた。それほど彼は野菜といふものに特別な趣味をもつてゐた。この菜園いちりが彼をして將來世界一の罐詰王たらしむる唯一の出發點であらうとは、彼も彼の兩親も何人も恐らく豫想しなかつたことであらう。

彼の父は、彼の才能を見込んで實業學校へ入れた。實業學校卒業後暫く父の工場の

會計係をやつてゐたが、彼はその間にも野菜についての研究を忘れなかつた。

彼は父の工場の會計係をやりながら、野菜について考へ研究してゐるうちに、野菜の罐詰といふことに考へついた。といふのは、當時米國に於ける罐詰事業は極めて幼稚なもので、罐詰その他の保存食料品は主に歐洲からの輸入であつた。随つて値段も高く、一般家庭の需用を満たすには餘りに贅澤であると思はれてゐた。その點から見て彼は、野菜の罐詰を始めようといふ計畫をたて、エル・シー・ノーベルといふ男と共同して、罐詰事業の前提として先づ野菜を瓶詰にして賣り出した。素より資本といふほどでもない僅かな資本で始めたのであるから、最初は製造から販賣まで自分でやらなければならなかつた。最初はわさびのみの瓶詰を拵へ、それを手押車に載せてシャープスブルグの街を行商してゐるいた。初めは餘り賣行もよくなかつたが、一度買つたものは、引續いて買つてくれたので、段々販賣の方の成績もあがつて來た。そして彼の瓶詰野菜は、安くて新しいので段々評判がよくなつて、わさびばかりでなく、鹽漬物や、ソースなどの保存食料品を拵へて賣るやうになつた。次にジャムやジュリエも拵へるやうになり、更に豚や豆の罐詰を製造販賣したが、これは最も評判がよかつ

た。

その頃になつてイー・ジー・ノーベルが組合員に加はり、三人共同となつたので、今度はピッツバーグに移して四階建の建物を借り、少し盛大に事業をやり出した。

斯くて彼等三人は、それから三年間といふものは一生懸命死者狂ひに働いた。その結果年々に盛大となつたが、一八七五年になつて、ノーベル二人は或る事情の爲め、共同から脱退し、彼の弟と従兄弟の二人が加入した。一八八二年には食錯工場を設け、一九〇五年には會社組織となり、ハインツが社長となつた。會社組織となつてからの彼の罐詰事業は天馬空を行くの有様で、急速なる大發展を遂げ、遂に世界一の野菜罐詰製造會社となつたのである。

會社組織となるまでに漕ぎつけるといふことは、彼に取つては骨を刻み肉を削る苦心と努力とであつた。組合員があつての共同事業ではあつたけれども、製品の研究から販賣に至るまで彼自身となつてやらなければならなかつた。彼の事業が發展するか潰れるかは、一に彼自身に懸つてゐたのである。彼の野菜罐詰が段々評判がよくなり、賣行がよくなつて來るに従つて、彼のお株を奪はうとする模倣者がいくらかも現は

れた。中には彼よりも遙かに大きい資本を以て彼を壓倒しようとか、つたものもあつた。彼はそれらの横倣者競争者と戦はなければならなかつた。より優秀な製品をより安價に賣ることをモットーとして競争することは、決して樂な仕事ではなかつた。最初は製造の不熟練から、製品が腐つて顧客から盛んに苦情を持ち込まれ、全部それを買戻さなければならなかつたり、製品が全部賣物にならなかつたりして、大打撃を受けたこともあつた。さういふ困難に打勝つて成功への道を進むことは、重荷を負ふて峻坂を攀ぶるよりも危険であり困難であつた。僅少な資本を以てかゝつた彼は、自分の生活にはあらゆる困若缺乏に耐へ忍ばなければならなかつた。數年の間彼は人間の食物らしい食物を口にすることは出来なかつた。數年間彼は温かい人間の寢床らしい寢床に眠ることは出来なかつた。

何しろ事業が食料品の罐詰である。清潔といふことも、變味變色を防ぎ、より長く持たせるといふことは、その生命である。そのいづれかに欠點があれば、既に保存食料品としての價値を失ふことになる。殊に彼が罐詰事業に着手した當時は罐詰製造法も極めて初期的な幼稚な時代だつたので、その製品が世界一の聲價を獲得するまでの

彼の苦心と努力とは、とても筆にも語にも盡せないものであつた。

新しいものを産み出す苦心努力と、産み出したものを世に普及させる苦心努力は、何時の時代においても同様である。罐詰事業の幼稚な時代幼稚な國にあつて、國産罐詰を以て舶來罐詰を驅逐し、更に進んで世界に販路を擴張することは、握り擧丸で金儲けを考へたり、一攫千金の夢に耽つたり、一寸した困難にも直に閉口垂れる意氣地無しには、到底出来ない藝當であつて、あらゆる困苦缺乏に打勝ち、幾度か死線に彷徨しても閉口垂れない彼ハインツの如き人物にして始めて能ふことである。

體驗から得た成功秘訣

- 一、總てを出来るだけ正直になせ。總てを用心深く貯へよ。そして總てを出来るだけ賢明に與へよ。
- 二、使用人を出來るだけ愛せよ。そして出来るだけ使用人の利益を引上げよ。
- 三、實業は人間の精神の力を以て運轉さるべきである。
- 四、生産者として成功するには、その國において、世界において、最も需用の多いも

ので、その生産方法の最も幼稚で、最も供給力の後れて居るものに着目せよ。
 五、出来るだけ旅行せよ。旅行は一種の偉大なる教師であり、最も實利實益を教ふる
 學校である。

六、困苦缺乏に能く耐へ、困難研究を能く遂行し、人の能く爲し得ざる努力勤勉を能
 く爲すことは、成功への第一の要素である。

七、製品はより優秀なものをより安價に賣れ。

八、大量生産は、より良きものを、より廉價に賣り、より大なる利益を得る唯一の秘
 訣である。

九、製品は、その利益より先づ需用者の信用を得ることを第一とせよ。

十、人は何人も成功する者しない者と先天的に決定した運命を持つたものではない。
 その兩者のいづれであるかは、自己の所信を斷行するか否かにある。唯それだけで
 ある、それ以外には何ものもあるものでない。

借金の爲めに監獄にまで打込まれ乞食にまで

零落し、遂に硬化護謨の發明に成功した

27 ゴム界の大恩人グツドイーヤ (米國)

成功の總量

ゴム硫化法を始め、ゴムに關する五十種の多きに達する改良發明に成功し、ゴム工
 業に劃世的躍進の幕を開き、近代文化建設史上巨星の如き光鉞を放ち、現に世界の人
 類に無限の文化的恩恵を與へてゐる。これが本篇の主人公チャールス・グツドイーヤ
 一代の成功總量である。

如何にして成功したか

ゴムは現代人類の生活に無くてはならぬ重要な必需品の一つであり、ゴム工業は
 現代文化工業として最も重要な地位を占めてゐる。而もその現代文化を形成してゐる
 礎柱の一をなしてゐるゴム工業は、ゴム硫化法を無視しては成立しないといつてよい。

これはゴム工業の何人も抗辯し得ない事實であるが、このゴム硫化法が、米人チャールス・グッドイヤーが借金の爲めに監獄にまで打ち込まれ、剩へ乞食にまで零落しながら一生をその研究に献げた結果發明されたものであることを知る人は、ゴムの工商に携はつてゐる人たちのうちにも少なからう。況んや一般世人をやである。

今日われは、何人が何んな苦心をして發明したかをも知らず、平氣の平三で需用し恩恵に預つてゐる物が澤山あるが、ゴム製品の如きもその一つである。

ゴム硫化法の發明者チャールス・グッドイヤーは、一八〇〇年十二月二十九日、米國コネチカット州ニュー・ヘヴンの片田舎に生れた。彼の父は農具鍛冶で、主に草薙鎌を拵へてゐたが、些しも繁昌しなかつた。随つて家計はいつもピーク／＼ガラ／＼火の車で、彼は小學教育を受けたのが辛との事であつた。小學校を出てからは、父の手傳をして鍛冶屋の小僧をやつて、父と一生懸命働いたが、矢張り繁昌しなかつた。それでも彼は父を助けてハンマーを握つて働いた。彼が二十歳の聲を聞いてから、父子の努力は漸やく酬ひられ始めて、いくらか繁昌して來たので、その製品販賣店をファイラデルフィア市に開き、父は製造、彼は販賣と、手分けをして懸命に働いた。商店は年

々繁榮の途を歩いた。父も彼も大いに前途に望みをかけてゐたが、彼が三十歳の一八三〇年、全米の經濟界は未曾有の大不況に襲撃され、商工業界は粉碎され、倒産者頻々として現はれ、慘憺たる悲劇時代が展開された。

この大悲劇の渦中に、彼の商店が巻き込まれて、悲惨な最期を遂げたことは言ふまでもない。

この慘憺たる不況時代にあつて、最も活氣を失つてゐたのはゴム企業であつた。それは不況の襲來した一八三〇年英國のマツキントッシュによつて、ゴムを糸に加工して防水外套が造られたことに原因してゐた。ゴムを糸に加工して防水外套が作られたことに刺戟されて、防水外套製造は、非常に有利な事業として、企業家たちの心を躍らせたからであつた。けれどもゴム企業熱は應て反動的に冷却する時が來た。一時有望と思はれたゴム加工工業は愚にもつかぬものだといふことが、防水外套その後の實際が實用的無價値を裏書したからである。

英國で試みられたゴムを糸に加工した防水外套は、原料ゴムをそのまま使用してゐたので、夏になるとドロ／＼に柔らかくなり、冬になると固くなつて鐵の様になつた。

さういつた事情で米國におけるゴム企業も一時頓挫するに至つた。

不景氣の煽りを食つてからの彼は、このゴム工業に着目した。そして彼は救命袋とポンプの瓣にゴムを利用した二つの考案に成功したので、彼は早速その考案をもつてニューヨークへ行つた。彼の考へでは、當時ニューヨークはゴム企業熱が旺んだつたので、資本家は一も二もなく彼の考案に賛成し、資本を提供するだらうと思つた。

ところがニューヨークへ行つて見ると、彼の期待と豫想とは悉く裏切られた。彼の考案に賛成して資本を投下しようといふ資本家は一人もなかつた。世事に迂濶なものと、餘りに自分の考案に自分で惚れ込むのとで、折角の苦心考案が何の役にも立たず、失望と落膽とを結果とすることは、多くの發明家が一度は必ず嘗める苦い經驗であるが、青年發明家グッドイヤーも矢張りその御多分に漏れなかつた。巨萬の富我が掌中に在りといつた調子の非常な意氣込みでニューヨークへ行つた彼は、熱湯をかけられた青菜の如く悄然としてフィアデルフィアに歸つた。始め脱兎の如く終り處女の如し、その時の彼はまさにそれであつた。

彼の店の方をそつちのけにして、ニューヨークの資本家を口説き廻つて居た間に、

彼の店は遠慮なく破産してしまつてゐた。ニューヨークから落膽を抱いてフィアデルフィアに歸つた彼は、借金の爲めに監獄に投げ込まれた。ゴム考案は見事に失敗する、店は破産する、その身は借金の爲めに投獄される。弱り目に祟り目、踏んだり蹴たり

の慘憺たる大逆境に突のめされたのであつた。如何に何でも、こゝまで叩さのめされては、流石のグッドイヤーも煩悶せずにはゐられなかつた。得意の絶頂から失意のドン底に突落され、剩へ身は縲綯の辱めを受く、何たる不運何たる不幸ぞ、獄中夢冷やかなるとき、彼の心頭を針の如く突刺し、彼の腸を寸断する思ひあらしめたのはそれであつた。

併し聽て彼は自己の進路をはつきりと見出した。自分の生涯を費し棒ぐべきものを確かりと撰び擲んだ、即ちゴム研究のそれであつた。

ゴム研究に自己の進路を發見し、その一身を投ずることに決心した彼は、獄中にあつても、その心は常に日夜ゴム研究の上に注がれた。出獄してからは、妻と一人の愛兒を抱へて、フィアデルフィアの場末の裏長屋に乞食の様な生活にはいつた。彼の友人、彼の親類は彼の悲惨な生活を見かねて、いくらづゝかの金を贈つたが、ゴム研

究にすべてを打込んでゐた彼は、悉くそれをゴム研究費に注ぎ込んだ。

彼がその頃研究してゐたのは、ゴムの應用でなくて、ゴムの硬化法であつた。即ち原料ゴムを何等かの方法によつて、寒熱に遭つても硬度の變化しないものにする方法であつた。彼はいろいろの材料と方法によつて、數回數十回の實驗をやつたが、結果は悉く失敗であつた。けれども彼は少しも前途を悲しなかつた。彼はいくら失敗しても、或るものを或る方法に用ふれば、寒熱の爲めに硬度の變化しないものに變化させ得るに相違ないと思はれなかつた。その方法が分らぬにしても幾多の實驗を繰返して研究してゐるうちには、その方法を發見するに違ひないといふ考へは、どうしても打消すことが出来なかつた。一生研究を續けて居れば、何時かは、それにぶつかるに違ひないと信じた。

四百四病の疾より辛いと謂はれる貧困と戦ひ之に堪へて行くだけですらも並大抵ではないのに、その中から暗中模索的な研究を續けて行くといふことは、ニキビを撈りながら戀文を書く様なものではない。而もたつた一人の愛兒は榮養不良の爲めに病氣になつたが、醫藥の代もなかつた爲めに、愛兒はとうとう死んでしまつた。其時の彼

の悲痛斷腸の思ひが、どんなであつたらうかは誰にも想像がつくだらう。彼は愛兒の靈に對しても、ゴム研究に成功しなければならなかつた。

かくて一八三五年となり彼は三十五歳の壯年となつたが、ゴム硬化の研究は、依然として盲目であつた。すると或時彼は生石灰を水に溶かし、それに炭酸マグネシウムを混ぜてゴムを煮て見たところが、彼の望んでゐたものに近いものが出来た。彼は雀躍して喜び、早速特許を取つて製品を賣り出して見たが、まだく不完全たるを免がれなかつた。併し、光明の緒口を掴んだこの或程度の成功は、彼をして勇氣を百倍させ、彼の研究心を驚くべく強烈な熱度にした。そして其翌年ゴムを塗つた布を硬化し、それを幾分軟らげるために硝酸を塗つて見たが、何しろ硝酸を使つたのだから、布は駄目になつたものと思つて、碌に檢べもせず、それを打棄てておいた。一週間ばかりも過ぎて、何氣なくそれを取り上げて見たところが、不思議にもポロポロになつて性は無くなつたものと思つた布が、何の變化もなかつた。

『しめたッ！』

彼は我知らず斯う叫んだ。そして堪へ切れぬ嬉しさの笑が彼の顔の格好を滅茶々に

した。

彼は硝酸を用ひても布に異状が起らなかつたのは、硝酸が布に通らないうち、ゴムが迅速に硬化したからであらう、そしてゴムがそんなに迅速に硬化したのは、硝酸の中に混つてゐた硫酸の働きではあるまいかと考へたので、今度は硫酸を用ひてゴムを處理して見た所が、全く彼の想像通り、硫酸の作用であつた。

彼は早速特許を得て資本家を求めたが、今度は容易く資本家が共鳴した。そこで彼はニューヨークの目抜の場所ブロードウェイに堂々たる店を構へ、硫化ゴムを賣り出したが、何しろ寒熱に遭つても硬度に變化の起らない硬化ゴムで破天荒の發明だつたので、素晴らしい勢で賣れた。ところが天はまだ彼に試練の手を弛めなかつた。再び襲來した財界不況は、憐むべし彼の唯一の力たる彼の資本家を打ち倒した。彼は又々元の木阿彌の裸一貫に逆戻りした。

彼は再び資本家を捜さなければならなかつた。東奔西走、多くの資本家を殆んど片端から口説き廻つたけれども、何しろ財界不況といふ恐惶風がニューヨークを吹きまくつて資本家を極度に脅やかしてゐた時だつたので、誰一人オイソレと出資をし

ようといふものはなかつた。

そのうちに辛と一人彼に同情した資本家があつた。それでロックスブライ・ゴム會社が設立されたが、一年も経たないうちにこの會社も破産の已むなきに至り、又々元の木阿彌に逆轉した。

彼は矢張り貧困と戦ひつゝゴムの研究に熱中し、幾多の改良發明を完成し、特許されたもの四十餘種の多數に上り、ゴム狂とまで渾名されるに至つた。彼がゴム研究にどんなに熱心であつたか窺はれるであらう。

彼のゴム狂はニューヨークの大企業家ラダー兄弟を感激させ、彼の爲めに餘りあるほどの資本が提供され、彼の硬化ゴムは再び市場に賣り出されることになつた。

時のチャクソン大統領は、彼に書翰を送つて彼の功績を稱へた。又一八五一年ロンドンに催された世界市場協會の委員會は、彼の四十種の特許ゴムに對して名譽ある功勞メダルを贈つて表彰した。一八五五年には佛國のナポレオン三世からレジオン・ド・ノール名譽勳章を贈られる等、世界の感謝と敬意とは、彼の晩年を燦爛と飾つたけれども、彼は一生を捧げて發見發明した五十種からの特許を、人類文化の爲めに、無償

で一般に使用することを許したので、物質的には殆んど得る所なく、死に至るまで彼あつた。彼が一般の自由使用を許した五十種からのゴムに關する彼の發明は、無量六百種からの生産事業に應用され、世界人類に無限の恩惠幸福を與へてゐる。若し彼にして富を得んと欲したならば、容易に巨萬の富を積み得たにも拘はらず、終生赤貧に甘んじて五十種からの特許を惜氣もなく一般に無償使用を許したのは、彼が物慾に囚はれない純粹の發明家であり研究家であつたことを語るものでなければならぬ。

殊に彼の發明中最も偉大なるものは、硫酸を用ひてゴムを硬化させる方法から、更に一步進んで、硫酸を用ひず、硫黄を用ひて簡単に硬化ゴムを製出する、現今行はれてゐる硫化ゴム製法の發見である。

體驗から得た成功秘訣

- 一、不斷の熱心、不斷の努力、不斷の研究は不可能を可能にする。
- 二、發明發見にはどんな瑣細な事でも細心の注意と研究とを怠つてはならぬ。發明發

見の緒口は、期待する大きな事よりは寧ろ期待も豫想もしない偶然的瑣細な事に發する場合が多い。

- 三、私利私慾の爲めの發明發見は、性急と落膽との前に屈伏する。

四、私利私慾を冀はず、世の爲め人の爲めを目的とする發明發見は、悔ひず悲ます愉快と無限の勇氣とを以て自己の生涯を捧げることが出来る。そして目的は必ず完成する。

- 五、人間の考へ能ふものは結局において不可能なものはない。

- 六、一つの事に熱中すれば必ず成る。

- 七、困苦缺乏に堪へ得ない者は、始めから發明發見に志さぬ方が賢明である。

八、失敗頓挫困苦缺乏は發明家の試練である。此試練に及第し得ない者は成功の殿堂に入らざる資格がない。

- 九、世間の毀譽褒貶に煩はされてはならない。

一鑄型職工から苦心慘愴して
遂にベセマー製鋼法を發明した

28 現代鋼鐵文明の母ベセマー（米國）

成功の總量

製鋼法を始め百七十餘種の發明を完成し、發明王エヂソンに次ぐ世界的大發明と稱せられ、エヂソンを現代文明の父とすれば彼は現代文明の母である。

殊に彼をして現代文明の母たらしめた大發明は彼のベセマー式製鋼法である。即ち銑鐵を簡單な方法によつて直ちに鋼鐵化する方法の發明である。

現代文明は蒸汽機關の文明、ガソリン機關の文明であり、印刷術の文明であり、電氣の文明であり、交通機關の文明であり、紙の文明であると其に鋼鐵の文明である。軍艦、汽船、鐵道、鐵橋、機關等は勿論、建築用の鐵材から種々の機械類に至るまで、すべて鋼鐵の使用されないものは殆んどない。現代の文明は、之を鋼鐵の文明であるといふに何人も異論はあり得ないのであるが、斯かる偉大なる鋼鐵文明を産んだ母は

サー・ヘンリー・ベセマーであり、彼の發明した製鋼法である。

彼は單にその製鋼法の發明によつて不朽の名譽を贏ち得たが、富に於ても彼は巨萬を贏ち得た。若し彼の發明を金額に換算するならば、製鋼法一つだけでも、世界の富の總量よりも大なるものでなければならぬ。

如何にして成功したか

斯くの如き大成功を彼は如何にして贏ち得たであらうかは、讀者の何人も知らんとする興味ある問題でなければならぬが、彼がそこに到達するまでの歴史は、發明に志す人ばかりでなく、如何なる方面に志す人にも、成功への好參考でなければならぬ。

彼が始めて現世の空氣を呼吸したのは一八一三年の一月十九日、彼の生れ故郷はロンドンから少し離れたハートホードシヤアのチャールストンといふ片田舎である。彼の父は鑄型の鑄造屋で、生活は餘り豊かではなかつたけれども、彼に學校教育を受けさせる位のこととは別に苦勞にもならなかつた。併し彼は小學校を卒業したのみで、それ以上學校生活をする希望はもたなかつた。學校へ通ふよりは父の工場で鑄型鑄造

の手傳でもしてゐる方が、彼には興味が多かつた。父は彼の欲するまゝに自分の工場
で働かせてゐたが、一八三〇年彼が十七歳の時、彼の父はチャールストンを引拂つて
ロンドンに移つた。といふのは鑄型の鑄造などは大都會においてこそ注文も多いし、
發展の見込みもあるが、チャールストンの如き片田舎では、到底發展の見込みがな
つたからで、つまり同じ事ならロンドンで一旗擧げて見ようといふ考へに支配され
たからであつた。

ロンドンに移つてからセマーの發明的天分は徐々に現はれて來た。二十歳の時、
政府發行の證券類の羊皮紙浮出スタンプが、容易く偽造し得る不完全に氣がついて、
絶対に偽造の出來ないスタンプを發明した。彼は印刷局長官に面會して、そのスタ
ンプを提示し、その發明の動機理由効用を説明した所が、長官は大いに驚き、彼に對
し將來かゝる物を製造してはならぬと嚴禁したにも拘はらず、そのスタンプを彼に製
造させて印刷局に納めさせた。そして發明者たる彼に無斷でそれを印刷局で使用した
爲に後日問題になつて、首相チスレリー卿が彼に陳謝しなければならぬ事件が持上つ
た。

僅か二十歳の青年が、これほどの發明をするといふのは、如何に彼に發明的天分が
豊かに恵まれて居つたかを知るに足る事實であるが、元來、彼の發明的天分は父の遺
傳によつて恵まれたものであつた。

彼の父はロンドンで生れたが、幼時兩親に連れられて和蘭に移住し、機械職工とな
り、二十一歳の時巴里に移住し、巴里の造幣局の機械工として勤務中、造兵機械に關
する發明を完成し、更に二十六歳の時顯微鏡について重要な發明をした功勞によつて、
巴里の學士院の會員に推薦されたほどであつたが、佛蘭西革命の結果、ロンドンに歸
り、更に轉じてチャールストンに引込んだのであるが、この父の歴史から見ても、彼
の發明的才能が父譲りであつたことは明らかである。彼の父は自分が發明家の素質を
有つてゐたので、彼の發明心に對しては、大いに理解と同情とをもち、彼が發明に熱
中しても、それに干渉がましい事は決して言はなかつた。寧ろ彼の相談相手になつて
彼の研究を助けたくらゐであつた。

彼の發明的天分が段々頭角を擡げるやうになつてから、彼は鋼鐵を科學的に容易く
製出する方法の研究に心を振向けた。鋼鐵の製法は當時は舊來の方法で、非常の人力

と時間とを要して製出する量は極めて少量なもので、刀剣やその他の小さなものに使
用する程度の需用しか満たし得なかつた。ところが需用の方面は機械類に必要なだけ
でも莫大なもので、もつと容易な方法で大量の鋼鐵を製造し得れば、人類の生活はど
れだけ利便を得て進歩するか知れないと思はれた。製鐵といへば鐵鑛から銑鐵を製し、
銑鐵から鍊鐵を製することで、鋼鐵の製造は附屬的なもので、すべて鍊鐵が用ひられ
てゐた。鍊鐵は工作には容易だが摩滅が早かつたり、曲つたり、早く腐蝕したり、耐
久力が弱いといふ欠點があつた。これを補ふには鋼鐵よりないが、鋼鐵は大量製造方
法がないから、鍊鐵を使用するやうに使用することは量においても價格においても不
可能であつた。

それに考へ及んだ彼は、先づ化學の知識を得る必要を認め、二十三歳の時にウアー
博士について研究し、一通りの化學知識を得た彼は、銑鐵から鍊鐵が出来るのも、鍊
鐵から鋼鐵が出来るのも、銑鐵の酸化作用によつて出来るものに外ならぬことが分つ
た。

銑鐵から鍊鐵を作るには銑鐵に高熱を與ふることによつて酸化作用が行はれるので

あるから、鍊鐵から鋼鐵を製するにも、矢張り高熱を加ふればいゝわけであるが、そ
の高熱を與ふる方法が彼には分らなかつた。否、彼のみでなく、當時専門家でもその
方法は分つてゐなかつた。分つてゐたのは、燃料を用ひて熱度を高め、それによつて
製鋼することであつた。併しそれでは完全な鋼鐵を多量に製出することは不可能であ
つたので、燃料を用ふるにしても當時分つてゐた方法よりは進歩した、もつと容易な
費用のかゝらぬ方法であるか、但しは燃料を用ひないで、他の方法を發見するかでな
ければならなかつた。

ところが、幸ひな事には、彼は父の家業たる鑄型の鑄造工場に職工として働いてゐ
たので、それを研究するには都合がよかつた。彼はいろいろの方法を研究したが悉く
失敗した。後には藥品を使用することを考へて實驗して見たが、是れ亦一つとして成
功しなかつた。

すると或時彼は、燃料が空氣を送ることによつて火力が強くなること、即ち熱度が
高くなることに氣がついたので、熔解した鍊鐵の中に空氣を送つたら、同一の理由で、
熱度が高くなり、酸化使用が盛んになりはせぬかと考へたので、彼はその實驗をやつ

て見たところが、非常の音響と光を發し、冷却したものを檢べると、鍊鐵よりも遙かに硬度の高い弾力をもつた準鋼鐵性のものであつた。最初の實驗にこれだけの成績を得た彼は、最早我事成れりと勇躍し、更に多數の實驗をした後、十五分乃至二十分間壓搾空氣を送ることによつて、銑鐵は完全に鋼鐵となし得ることに成功した。

斯くて新製鋼法の發明に成功した彼は、早速ロンドン協會ジョージ會長に面會して、發明を話し、之を同協會において發表したい旨を申込んだ。ジョージ會長はベセマーの製鋼實驗工場を訪ねて、實驗した所が、ベセマーの言ふ通り、劃時代的驚くべき大發明であることが分つたので、ジョージ會長は、自分の發明かの如く狂喜し、

『ベセマー君。この發明は製鐵界に大革命を來すべき劃時代的大發明だ。早速論文を書きたまへ、發表は僕が引受けるから』

と勧めた。彼も亦之に大いに力を得て、一八六六年八月十三日、『燃料を用ひざる新製鋼法』といふ題で論文を發表した。

ところが、丁度アレキサンダー・グラハム・ベルが電話を發明した時、當時の専門家たちが問題にしなかつたと同様、燃料を用ひないで鋼鐵を製出するなんて、魔法では

あるまいし、そんな重寶な馬鹿氣なことが出来るものかといつた調子で、嘲笑の聲を放つたが、併し彼の製出した鋼鐵そのものを實見するに至つて、呀と驚かされた。

『イヤこれは素晴らしい大發明だ！』

専門家が嘲笑した口から發した驚嘆の聲はこれであつた。その翌日ロンドン・タイムスは彼の論文の全文を載せて、彼の偉大なる發明を激賞し、之れ世界文明を躍進せしむるもの、今後の世界人類はベセマーの恩恵を蒙らないでは、一時間でも生存し得ないであらうとまで極言した。専門家が驚嘆し、歐洲新聞の權威ロンドン・タイムスが、これだけの大讃辭を呈したので、彼の大發明は忽ち英國の津々浦々にまで知れ渡り、彼の實驗工場を參觀に来る者引きもきらずといふ有様で、無名の一青年ベセマーは一躍して世界的大發明家の名聲を博した。

然るに、運命の神は、このまゝに彼を進めさせなかつた。此發表後彼には更に苦しい大試練が來た。といふのは、彼が英國の大製鐵業者マンチエスター市のガロウエーと、ウエールスのドレース、並にグラスコーのガパン等の諸工場で試験製作をやつて貰つた所が、不思議なるかな、一ポンドの鋼鐵も出來なかつた。流星の彼もこの奇

怪なる事實に直面しては呀と驚かぬわけにはいかなかつた。

彼は轟々たる非難攻撃の焼點となつた。詐欺漢だ、山師だといふ非難と侮辱の聲は、全國の新聞によつて、痛烈に彼の頭上に浴せられた。専門家はソレ見ろ、矢張り駄目ではないかと又もや冷笑の聲を放つた。剩へ彼を援助したロンドン協會のジョージ會長まで、山師の手先となつたといつて輕卒を非難された。ジョージ會長は、彼を信じては居つたけれども、三大製鐵所における失敗の事實を見ては、そして自分までが詐欺山師の相棒として世間の非難を浴びては、黙つてゐるわけには行かなかつた。

『ベセマー君。これは一體どうしたものだね。僕は君の發明が世間の非難の様なものでないことを信じてゐるが、試験製作の結果が悉く失敗であつたのは、何か原因があるだらう』

『さうです。これには何等かの原因があるに相違ありません。で、只今その原因を研究してゐます。必ずその原因を發見し、名譽を回復します。もすこしお待ち下さい』
彼は斯う云つて日夜苦心慘憺してその失敗原因の探求に没頭した。その結果英國産の銑鐵は多量の燐を含有してゐること、衝風爐の構築上に缺陷あつたことが發見され

た。そこで彼は更にその點に改良研究を進め、遂に完全製鋼法に成功し、以上の三大製鐵會社に再度の試験製作を依頼した結果は上々吉の好成績で、曩に専門家に發表した彼の實驗工場で製出したものより遙かに優良なものであつた。彼はこれによつて完全に名譽恢復をすることが出来たのである。

彼の發明によつて製出された鋼鐵は、驚くべき速度を以て有らゆる方面に需用され、軍艦に、鐵道に、鐵橋に、建築に、機械類に用ひられ、年々需用は莫大なる額に達し、聽て全世界に普及し、鐵の文明は躍進又躍進、遂に今日の偉大なる文化を現出するに至つた。

彼はその他百七十餘種の發明を完成し、エヂソン博士に次ぐ大發明家として不朽の名聲を謳はれて居る。

彼が二十歳の時發明した偽造されない浮出スタンプは、彼に何の斷りもなく印刷局が使用してゐたので、彼は當時はそのままに過し、製鋼法に成功して、有名となつてから、當時のスタンプ事件をロンドン・タイムス紙に發表し、首相ヂスレーリ卿に公開詰問を發した。首相はその真相を始めて知り、大いに狼狽恐縮し、彼に陳謝すると同

時に感謝状を贈り、尙ほその功業に酬ゆるための恩賞として皇帝より「サー」の稱號を賜はるに至つた。

斯くて銑鐵より直に鋼鐵を製出する大發明の恩惠の津浪は、世界人類を光被するに至つたが、彼は巨富と不朽の名譽とに光り輝きつゝ、一八九八年四月十五日、八十五歳の高齡を以て此世を辭し去つたのである。

體驗から得た成功秘訣

- 一、發明に必要なことは不斷の注意と熱心と執拗と研究心と努力とである。
- 二、發明は天才よりも、動機を撰むこと、右に擧げた諸條件である。
- 三、發明的才能は、すべての人に均等に賦與されてゐる人間共通の能力である。
- 四、人間の頭腦で考へ能ふもので不可能なものはない。
- 五、成功の曙光は幾多困難なる試練の後に来る。
- 六、求めざるものは與へられず、研究しないものは發明されない。

水呑百姓の小作から裸一貫向上の一路を邁進し

遂に厚生制度を創始して大實業家となつた

29 世界的大商業家パッターソン (米國)

成功の總量

水呑百姓の小作に生れ、發奮蹶起裸一貫より出發し、その一代に贏ち得た成功の總量は、世界多數の大會社たるナショナル金錢登録會社の社長として、雇主と被雇人との共存共榮制度たる厚生の新制度を創始し、同會社を今日の世界的大會社に發展せしめ、巨億の富豪となり、自動車王ヘンリー・フォード及び百貨店主ジョン・ワナメーカーと共に世界的三傑と稱せらるゝ世界的名聲と實力との夫れである。

如何にして成功したか

餘り高等専門の學校教育を受けると、理窟ばかり上手になつて實行が駄目になる、殊に實業の如きはさうだと云ふ人があるが、成程これは大成功した實業家を見ると、

事實であると思はれることが多い。世界實業界の三傑の一人と謂はれるジョン・ヘンリー・バツターソンも亦、矢張り高等専門の教育を受けなくて大成功を贏ち得た一人である。

彼は高等學校を卒業しただけで、大學教育は受けなかつた。高等學校といつても日本の高等學校の様な専門學校ではない、日本で云へば中學程度のもので、普通教育である。彼の生家は水呑百姓だったので、ハイスクールを卒業させるのが精一杯であつた。貧しい水呑百姓の家に生れてハイスクールまで學ぶことを得たのは、どちらかといへば寧ろ幸福であつた。成功者と謳はれる人たちのうちには、ハイスクールどころか、小學校さへも満足に行けなかつたものが随分多い。然るに彼は小學校からハイスクールまで連續して行けたといふことは、寧ろ両親に對して感謝こそしても、恨みがましいことは云へなかつた。併し彼はハイスクールを卒業して郷里に歸つても、父の手助けをして、農業に従事するより外に、彼の選むべき職業はなかつた。彼は心には燃ゆる様な希望を抱いてゐながら耕作したり、飼牛の乳を搾つたりしてゐるうちに、矢の如く月日は流れ去つた。彼はもう二十三歳になつた。村の友人たちは、妻を迎へ

て家庭を作つたり、子供まで出來たりといふ風に、もうあらかたは一家の主となつてゐた。

彼は何と思つても百姓で生涯を送る氣にはなれなかつた。商工業なりその他の方面に職を求め成功したいといふ心に満たされてゐた。彼は遂に決心した。そして村を出て、デイトンの町へ行つて職を求めた。そして辛とのこと。運河の通行税徴集係の職に有りついた。運河の通行税係といへば名はいゝけれど、その實これは何も血氣旺んの若者でなければ勤まらぬとか、教育がなければいけないといふやうなものはなかつた。片足棺桶に突込んだヨボくのお爺さんで結構勤まる詰らない役であつた。だから俸給なども安くて、一人食つて行く費用も支へかねるほどのものであつた。けれども彼は決して不平を言はなかつた。能ふ限りの熱心と忠實と勤勉とを以て職務に携はつたのである。さうして彼は二年間を過した。もう彼は二十五歳といふ男盛りになつた。それでも彼の俸給は依然として飢餓を凌ぐに足る程度の薄給で、少し意氣地のある青年だつたら、とても三月と勤まるものではなかつた。

ヨボくの老人が、孫の小使取りにもといふ程度の考へでなら、何十年でも、その

薄給に甘んじてゐられようが、二十五歳の青年の彼、殊に燃ゆる如き前途に希望を抱いてゐる彼としては、とても俸給だけでは讀みたいと思ふ雑誌一冊すら買ふことが出来なかつた。そこで彼は、その不足を補ふための収入増加法として、内職を始めた。それは石炭と材木商をやり始めた。

併し断つておく、石炭、材木の商賣を始めたといつても、彼は僅一文の資本もない一塊の石炭もなければ、一本の材木もない、唯看板にけである。商品がなくて何うして商賣するか。そこに彼の思ひ付きがあつた。彼は石炭商と材木商とに事情を打明けて相談し中繼をやることにした、そして彼の利益は石炭、商材木、商の方から、それだけ割引して呉れることになつてゐたのだから、資本も商品もなくて立派に商賣がやれるわけだ。

すると商賣といふものは面白いものだ。彼の貧弱な事務所兼宿泊所の横に掛けた看板だけで、二三の注文があつた。彼は迅速に注文に應じ、品物も確實で、値段も他より幾分安かつたので、その注文者は、それから引續いて彼に注文し、新たな注文者も日々増加して、片手間では少し荷が重過ぎるくらゐになつた。それでも彼は本職の運

河通行税係の方はやめなかつた。

彼にはステフェンとフランクといふ二人の弟があつたが、この二人が職を失つて彼を頼つてやつて来た。彼も其頃はもう一人では手まはり兼ねてゐた所だったので、それでは石炭と材木の中繼業を三人共同でやることにしようといふことになつた。二人の弟たちは、兄が運河通行税係をやつてはゐるが、どうせ薄給なんだから、とても自分達が頼つて行つた所で、一月と食はせて呉る餘裕はないだらうが、職を見付けるまでの寝泊りの便宜を與へて貰へばいゝくらゐの考へでやつて来て見ると、本職の方は問題にならなかつたが内職の方が可なり見込みがあつて、殊に石炭の方は三人が共力してやれば、立派に商賣として相當の利益をあげて行ける状態にまで發展してゐたので、二人の弟たちも素敵に喜び、注文取やら發送運搬に懸命に働いた。

かくて六年間三人心を合せて努力した結果は酬ひられて、石炭の注文は素晴らしい成績を示した。前途の見込みも充分ついたので、彼は愈々本職の運河通行税係を辭職し、此の方専門に働いた。そしてその頃は利益も多く資本も多少出来てゐたので、中繼などの姑息なことをやめ、炭坑から直接石炭を購入し、立派な石炭小賣商になつてゐた。

それから又更に八年間彼等兄弟三人は、側目もふらず働いた。品が良くて値が安く商賣がキビクして迅速で親切で氣持がいよといふ評判から、商賣は日に月に繁榮し、面白い様に利益があがり、デイトンの石炭小賣業の半分以上を占め、數ヶ所の石炭坑まで所有するに至つた。

彼は石炭小賣業を以て終生の事業とする氣はなかつた。これほどの成功を收めても、彼は將來により大なるものを描いてゐた。彼が十數年間懸命の努力を積んだのも、要するにその將來の大的目的に達する一の經路であり手段に過ぎなかつた。

すると或時、彼の店に金錢登録器を買つてはどうかと勧誘された。いろく説明を聞いて見ると、日々の損失を利益へ轉せしむるに最も有効なものであつた。當時の金錢登録器は、今日ある如き複雑完全なものでは無論なかつた。もつと簡単な構造のものであつたけれども、損失豫防の便利重寶なものであることは、矢張り同様であつた。けれども其會社は經營宜しきを得なかつた爲めか、それほどの利器を持つてゐながら、餘り振はなかつた。どちらかと云へば欠損續きで、適當な希望者があれば、賣つてもいよといふ状態であつた。そこで彼は、二人の弟に同意させて、石炭坑を賣

り、石炭小賣商店の方も賣り、六萬五十弗を以てその製造會社たるナショナル製造會社を買收した。それは丁度一八八四年のことであつた。

彼はナショナル金錢登録會社と改稱し、機械の改良、販路の擴張に寢食を忘れて努力奮闘した。ステフエン、フランク二人の弟も無論此の會社にはいつて兄を助け、従來と同様に懸命に働いた。

彼が折角十萬弗からの資産を積んだ石炭商を棄て、新規な事業たる金錢登録器製造會社を買收したか、それは單に將來有利な事業で、大いに儲かると思つたからばかりではなかつた。この機械を使用することは、使用する會社や商店の利益のみでなく、お客の方も利益になる。過失誤算胡魔化しを豫防し、それらによつて起る時間の不生産的消費、相互の金錢上の損失、能率の損を防止するのみでなく、それら一切の能率を増進し、損失を利益へ轉換する文明の利器で、世界の人類を利すること多大なるものであると思つたからであつた。

文明の香漂ふ處、世界のどんな隅々でも、今やナショナル金錢登録器を見ない處なく、一度びナショナル金錢登録器を使用したもので、他の如何なる金錢登録器に比

するも優越の價値が失はれないことを知らぬ者はない。それほど彼の商品は世界に普及し、彼の努力、世界に徹底した結果を現はしてゐるが、彼が今日の大成功を収めるまでの苦心と努力は、金銭登録器に五百幾度の改良を加へたといふ一事に徴しても想像され得るであらう。

彼は何處までも、パンを求むる者に石を與へて失望させてはならぬ、寧ろパン以上のものを與へて満足を得させなければならぬ、そして價は最低の價でなければならぬといふ、需要者本位、即ちより低き交換價値を以てより高き使用價値のものを提供するといふ、舊來の商業原則を根柢から顛覆した、商業革命主義の實行者であつた。

随つて彼の最も憎惡したものは不正、不忠實、不熱心、不當利得等の曲線式行爲、濁色不透明の行爲であり、正義人道叛逆の行爲であつた。そして彼の其主義は商品そのものにおいて實行されたのみでなく、自己の使用する人々との間においても實行された。即ち彼によつて創始されたといつてもより使用者と被使用者との共存共榮制度、即ち使用される人々の福利増進制度、即ち厚生制度の實施がそれである。

現代實業界の成功者、殊に米國におけるそれは、いづれも此のウエルフエアー・システム

テムの實行者ならざるはない。彼は殆んど時を同うして生れた世界の百貨店王ジョン・ワナメーカー、如き、自動車王を以て世界に鳴るヘンリー・フォードの如き、或ひは世界の富豪主にし、鋼鐵王たるカーネギーの如き、世界製鐵界の巨人シユワツプの如き、世界的製靴王ジョンソンの如き、皆厚生制度の實行者ならざるはない。彼はこの多くの成功者が唯一最善の王道として採用せる新制度の創始者であり最初の人であつたほどに、彼は勞資共存共榮への先覺者であつた。彼が水呑百姓の俸から世界一の金銭登録器を以て世界を征服する今日の大成功を贏ち得た所以は即ちそこにあつたと云へるのである。

彼は斯くて一九二二年、商業文化の大恩人としての名聲と実績とを世界に遺して永眠した。

體驗から得た成功秘訣

- 一、最善の努力と忍耐とが開拓し得ないものは人生に一つもない。
- 二、パンを求むる者に石を與へて失望させてはならぬ。寧ろパン以上のものを與へて

より満足を得させなければならぬ。
 三、如何なる人間でも、清潔なそして能く支配される社會に住めば、必ず最善の仕事をするものである。

四、使ふ人と使はれる人との共存共榮は、其一團、其一團、其社會、そして世界全人類の福利増進である。

五、不正、不忠實、不熱心、不常利得等の曲線式行爲、濁色不透明行爲、正義人道叛逆行爲を憎まない者は、遂に成功者たり得る資格もなく、成功し得るものではない。

六、正しき向上の一路を辿れよ。

七、如何なる仕事であらうとも、與へられたる自己の職業に對しては、誠實に熱心に最善の努力を以てせよ。汝の成功の序幕は必ずやそこに見出されるに至るであらう。

八、すべて何事も合理的に能率的に進行せよ。

九、自己の商品を以て一國を征服せよ、そして世界を征服せよ。少くともその目的を以て邁進せよ。

十、求めず努力しない者には與へられず惠まれない。

南米の蠻地に土人の如く労働しつゝ

遂に世界的大學者となつた

30 世界の博物學王ミユウラー(ブラジル)

成功の總量

世界博物學界の至寶として、博物學史上に一大星雲の如く輝いてゐる大學者、進化論のダーウインをして三歎せしめた世界的大學者、十九世紀から二十世紀への博物學界に不朽の貢獻を捧げた學界の一大恩人、其大著述『フール・ダーウイン』を始め三百部に近い不朽の大著述は、學界の寶物として今尚ほ尊重されてゐる。これが獨逸チエウリンゲンの郊外の田舎僧侶の子に生れ、南米ブラジルの未開地に渡り、激しい労働に生涯を投げ込んだフリッツ・ミュウラーの一代に贏ち得た成功の總量である。

如何にして成功したか

フリッツ・ミュウラー、彼は一八二二年三月三十一日、獨逸はチエウリンゲンの郊外

に住んでゐた貧しい田舎僧侶の子とし、孤々の聲を擧げた。

彼の家は、田舎僧侶の事だから、豊かではなかつたのは言ふ迄もないが、彼の父は僧侶であつただけに、彼を無教育のまゝ世の中に放つことは罪惡であるといふ考へから、自分達の生活を切り詰めて、彼に一通りの教育を施した。エルフルト市には彼の祖母が住んでゐたので、一通りの教育を受けた後は、その祖父母の許へ行つて、ギムナジウムに通うた。彼の父は、彼を自分と同様僧侶にする考へであつたけれども、彼自身は僧侶になつて一生お題目を唱へたり、村の人たちに紋切形の説教をすることは、何と思つても興味が乗らなかつた。彼はそんな興味の無いことに一生を費すより、自分の好きな博物の研究に捧げた方が、どれだけ意義深いことだか知れなかつた。

彼は博物學を研究しながら、ギムナジウムを終へ、大學へ入學して、専心博物學の研究をやりたと思つた。けれども彼の父の家計は、何う遣り繰つて見ても、そればかりは到底不可能であつた。そこで彼は學校の教師をやつて、その収入で大學へ通ひ、自出度く卒業した。

彼は大學在學中も、大學を出てからも、博物學の研究を進めて行くにつれて、宗教

の所謂神なるものゝ實在に信仰を持つことが出来なかつた。正直の所彼は神を否定する無神論者であつた。

然るに獨逸といふ國は最も宗教心の旺んな國で、苟も神を疑ふやうな口吻を漏す者があれば、神への叛逆者、惡魔外道として擯斥され非難されて交際圏外に摘み出されるのであつた。況んや神を否定するをやで、彼は彼の學説を嚴肅に發表することは、ドイツに於ては到底駄目だと思つたので、彼は未開の南米へ渡り、太古の儘に自然の保たれてゐる蠻地で、熱帯地方の植物について思ふまゝの研究をして見たいと思つた。そのうちに彼は妻を迎へた。妻は別に學問としてはなかつた、貧しい勞働者の娘であつたから、まあ無教育の女であつたけれども、良人を理解し、良人の趣味や研究に同情をもつて、彼をその方面に専心させるに、申分のない賢婦人であり良妻であつた。

一八五二年即ち彼が丁度三十歳の時、彼は年來の宿望を達して妻や弟たちを連れて南米ブラジルへ渡ることが出来た。今でこそブラジルは南米隨一の文明國だが、當時のブラジルは全くの未開の蠻地に過ぎなかつた。第一住むべき家そのものから自分で作らなければならなかつた。だからブルーメンアウに着いた彼は、先づ森林から木を

伐り出して来て、自分達の生活の根據たる住宅を建てなければならなかつた。家を自分で作る位だから、食物や飲料水などのあるべき道理はない。最初は携へて来た食物で凌ぐことが出来たけれども、それは一ヶ月を保つことの出来なかつたのは勿論で、家を建てること、食物や飲料水を得ることとは、同時に解決せなければならぬ焦眉の問題であつた。

住宅は無論野蠻人の棲家にひとしい丸太棒を結びつけ、屋根や壁は木や枝や草であつた。そして彼等の日々の仕事は伐木や開墾や狩獵やであつた。開墾された肥沃地の耕作と違つて、農場そのものから開拓して行かなければならぬので、其骨折りは決して並大抵ではなかつた。併し彼は、さうした激しい労働を続けながらも、好きな博物の研究に何の社會的拘束もなく出来ることが何よりの樂みであり愉快であつた。

彼は二年間ブルーメンアウに原始的な生活を続け、次にイタヤーエと云ふ所へ移つた。その頃彼が最も必要を感じたのは醫學であつた。何しろさういふ未開の蠻地の事だから、醫師などといふ者は一人もない、病氣の時は移民連お互がわづかに持合せた民間療法以外にはなかつた。随つてうまく奏効することもあれば、却つてそれが爲め

に重態に陥つたり、治癒の可能性が少なくなつたり、死を早めたりすることがあつた。移民たちの最も不便を感じたのはそれであつた。そこで彼は早速醫學を獨修して、労働の傍ら移民連の醫療をやつた。獨修の醫學でも迷信や不確實な民間療法とちがつて、科學的なものだから、移民連は彼の手によつて救はれ、救世主の如く尊敬され重寶がられた。併し彼は純學者肌の男だから、それを何程かの治療代を得て、生活費に充てようの、財産を作らうのといふ考へは毛頭持たなかつた。すべて無報酬で治療を施してやつた。

けれども、彼もさういつまでも収入に無頓着であるわけに行かなかつた。いつまでも夫婦きりではなかつた。追々子供も殖えて行くし、雇人も出来るといった風で、家族はだん／＼殖えて行く、それに對して生活の安定を得ることを考へないわけには行かなかつた。

すると幸ひなことには、ブラジル政府がデステルローといふ町に高等學校を設けることになり、教師を募集した。彼はフトそれに應募する氣になり、他の希望者と一諸に試験を受けたが、試験官よりも彼の方が學者であつたのには試験官も驚いた。殊に

そ 數學には試験官一同が、われ／＼があなたを試験するよりは、われ／＼が貴方に試験されるのが本當ではないかといつたほどであつた。試験官は、貧しい移民の中に、これほどの學者がゐようとは夢にも思つてゐなかつたので、掃溜めに鶴がおりた様に驚かされたといふ。

デステルローの高等學校に教鞭を執る様になつても、彼は勞働をやめなかつた。そして全世界を震撼した大著述『フール・ダーウイン』はその頃書かれたものであつた。この大著述は、彼がダーウインの『種の起原』を読んで實驗し、ダーウインの所説と同一の結果に到達した事を書いたもので、つまりダーウインの『種の起原』の裏書とも云ふべきもので、一度これが發表されるや、ダーウインの『種の起原』と共に學界の驚異となつた。そして歐洲の學者たちは、南米の博物界研究の爲め、續々とブラジルに渡り、第一の世界的大學者ミュウラーを訪ねた。

それ等歐洲の學者たちは、ダーウインと並び稱せられる大學者の事だから、住宅も定めし堂々たるものであらう、書齋には幾千萬冊の書籍がギッシリ天井に届くまで置き列べてあるだらう、實驗室も素晴らしいもので、いろ／＼の精巧な機械などが据付け

てあるだらう、ミュウラーその人も堂々たる風采の人物だらうと、想像し期待したのであつたが、さていよくミュウラーを訪問して見ると、住宅は土人の棲家のやうなお粗末なもの、書齋もなければ實驗室もなく、彼の部屋といふのは四疊、精々で、粗末なデスクと椅子、デスクの上にはペンとインク、傍の棚には五六冊の書籍と極く舊式の顯微鏡とがあつただけで、何一つ學者らしいものはなかつた。ミュウラーその人も一個の勞働者に過ぎなかつた。その想像と實際との懸隔の餘りに甚しいのに、歴然たる外はなかつた。併しそれ等多くの學者たちは、この學者的背景の何物もないミュウラーが世界的大學者であるに比し、自分たちが萬巻の書籍と立派な書籍とを有し、新式の實驗機械や設備を施した堂々たる實驗室を有し、堂々たる邸宅に贅澤な生活をして居りながら、その學術上の研究功業遙かに劣り、ミュウラーの足許にも及ばないのを、私に愧ぢないわけには行かなかつた。そしてそれと同時にまたミュウラーに對して最大の尊敬を拂はざるを得なかつた。

南米に彼を訪れた學者たちばかりでなく、歐洲各國の學者たちからも、遇 求められ、殊にダーウインとは特に親しい間柄になつて、二人はお互ひにお互ひの著書や論

文に對する卒直な批評を歡んだ。ダーウインほどの大學者でも、時々自分で分らないことがあるときは、いつもミュウラーに質問の書面を送つたといふ。彼が博物學者としてどんなに偉かつたかゞ知れるであらう。

彼はそれほどの學者であつたけれども、物質上の慾望といふものは殆んどなく、所謂慾恬淡であつた。或年の夏ブラジルに大洪水があつて、彼の住宅は根こそぎ流されてしまつた。この事を聞いたロンドンのダーウキンは、研究室再築費として金を贈りたいと彼に申込んだが、彼は、自分には大自然といふ大研究室があつて、これには一文の費用もかゝらないからと云つて辭退した。またその後獨逸のヘッケルはエナ大學のリツテル研究金贈りたいと申込んで来たけれども、彼は自分の研究には金は入らぬ、それに餘命幾何もない老骨である。歐洲には前途有爲の青年學者にして研究に費用なくて歎息を漏らしてゐる人も澤山あるだらうと思はれる、どっかさういふ若い前途ある人達に贈つて頂きたい、その方が有意義であるといつて辭退したといふ。學者でもない癖に學者らしい顔付をしたり、博士の學位を看板に金儲けに狂奔する徒輩の多い世の中に、さういふ幾多の佳逸話を遺したミュウラーの如きこそ、眞に學者

らしき學者であり、萬世に謳歌さるべき眞の大碩學である。

而も彼は、さういふ申込みを謝絶したけれども、その生活は決して安樂ではなかつた。硬化譏諷發明者のグッドイーヤと同じく、一生貧乏に悩まされたのであつた。毎日汗と脂にまみれて伐木や、やの激しい労働をして、パンを得なければならなかつた。併し彼はそれに對して何等の不平も不満もたなかつた。そんな貧生活續けても恵まれた大自然に接して思ふまゝ、に博物の研究の出来るのが、すべての不如意と苦痛とを忘れさせるに十分であつた。世界の學界から至寶の名著として尊重されてゐる三百部近い大著述は、さうした生活裡に産み出されたものであつたといふに至つては、驚かざるを得ないではないか。

彼はその晩年をブルーメンアウで送つたが、彼が壽盡きて永眠するや、ブルーメンアウの町の人々は、吾等の太陽がなくなつた、學問と人格の帝王がなくなつたといつて彼の死を悼み惜み、全町民葬儀に參列して彼の靈柩を送つた。


體驗から得た成功秘訣

- 一、學問は金で購ひ得るものではない、自己の精神即ち不斷の研究心によつてのみ眞に偉大なる學問が購はれる。
- 二、一日二三頁の書を読み得る時世があれば、立派な専門の科學者となり得る。
- 三、吾人の眼前に展開する大自然こそ、あらゆる設備を施したる研究室にも優つた大研究室である。
- 四、眞に魂を打込めばどんな困難な研究でも遂に完成する。
- 五、神聖なる勞働を爲しつゝ、究め行く學問こそ神聖なる學問である。
- 六、「目さす一途を奮進」成功への道は唯それである。
- 七、成さんとすれば遂に成らざるものはない。

— 終 —

不許複製

成功秘訣講話



昭和十五年十一月二十五日發行
昭和十五年十一月三十日發行

定價 金壹圓五拾錢
外埠定價 金壹圓六拾五錢

發行所 天泉社

東京市神田區錦旗町二丁目八番

西村印刷工場

東京市神田區三輪町三丁目五ノ八

西村由太郎

東京市神田區三輪町三丁目五ノ八

西村印刷工場

東京市神田區錦旗町二丁目八番

天泉社

電話 神田二二三九三番
原簿東京五七〇二九番

加藤清士
文學士著

圖解 禮儀作法讀本

最新版

四六判 四八〇頁
上製堅牢函入
定價金二圓廿錢
送料金二十四錢
全國書店發賣

本書の内容とその特色

- 一、本書の組方は四六版綴振假名付二段組であるから、一頁で二頁分の内容が盛られてある。
- 一、本書は多年の苦心と、周到な要意と、新しい創意とに成つた我國唯一最高の禮法書である。
- 一、本書は男女共用、誰れにもわかり易く、必らず實行の出来るやう挿繪入りで説明してある。
- 一、文章が平易明快で、嚙んで含めるやうに親切に書いてある。
- 一、書翰文の禮儀作法までも取り入れてある。
- 一、贈てもよし、貰てもよし、嫁入仕度にもなる。

内容一般

- 一 禮儀作法と挨拶
- 二 見舞と禮儀作法
- 三 服裝と禮儀作法
- 四 訪問と禮儀作法
- 五 應接と禮儀作法
- 六 饗應と禮儀作法
- 七 冠婚葬祭と禮儀作法
- 八 結婚と禮儀作法
- 九 生花と禮儀作法
- 一〇 茶の湯と禮儀作法
- 一一 書翰文と禮儀作法等々

禮は身だしなみである。吾々の祖先はこれを武士道によつてハツキリ顯現した。日本文化の精華といはれる茶道も花道もその淵源は此處にある。だから禮儀作法といつても少しも難かしいことではない。私共日本人が幾千年の傳統で磨き上げてきた、その精神を血を以て受け継いだに過ぎない。

禮儀作法を窮屈な御行儀と考へてはいけない。最も自然で無理がなく淑やかで美しく、素直で無駄のない人柄を作るのが禮儀作法である。眞の禮法はさういふ人柄の姿勢から流れ出る日常の動作である。どこにもスキのない、どんな場合に出逢つても亂れない一舉手一投足は、必ずこんな人柄の姿勢からのみ生れるのである。この根本觀念をつかみ得たら、禮儀作法ほどやさしいものはない。又實際に行つてこれほど氣持の晴れ々とするものはない。だから正しい人は人生の落伍者である。

終



¥ 1.50
外埠 ¥ 1.65